
目次

本誌について2
23卒選考ケース 掲載企業一覧3
掲載情報について4
<23卒選考ケース集>	
選考ケースページの見方(凡例)5
商社6
金融12
メーカー24
サービス40

本誌について

本誌の概要と特徴、ご活用イメージについてご紹介します。

1

オンライン・コンサルティングサービス 「STUDENTS' REPORT」の一部です

- ✓ 「STUDENTS' REPORT」は新卒採用専門・月額3万円台で利用できるオンライン・コンサルティングサービスです
- ✓ 毎週届く採用動向とアドバイス/メール相談/WEBミーティング/市場総括レポートがパッケージされています
- ✓ 本誌は、「市場総括レポート」です

2

メインコンテンツ

日系大手企業の23卒 選考ケース集です

- ✓ 日系大手企業の「23卒選考プロセス」を網羅しています
- ✓ 各社の選考実態を解明。業界横断的に俯瞰できます
- ✓ リクルーターなどの実質的な選考、インターンなどを經由する特別ルートの選考も可能な限り記載しました
- ✓ 多様な選考プロセスの「トレンド」「勝ち筋」を学べます
→ 掲載企業は次頁をご覧ください

3

24卒の選考プロセス設計/市場動向の 予測に、お役立てください

- ✓ 24卒の選考プロセス設計の参考資料としてお使いいただけます
- ✓ 24卒の選考時期に、お手元において競合の動向予測にご活用ください
- ✓ 多くの企業は前年と同様のステップで推移するため、前年データを用いておおよその動向が予測できます

4

情報ソースは「学生レビュアー」から毎日届く 生の声です

- ✓ 直接契約の学生レビュアーが就活の結果を投稿、情報は責任をもって実名で投稿されています
- ✓ 投稿内容をリサーチャーが真偽確認した後、個人特定につながる情報を削除して公開しています
- ✓ 本誌は、このデータベースから情報を抽出。再編集したレポートです

23卒選考ケース 掲載企業一覧

【商社】

三菱商事	…8
三井物産	…8
伊藤忠商事	…9
住友商事	…9
丸紅	…10
双日	…10

【金融】

日本銀行	…14
国際協力銀行	…14
日本政策投資銀行	…15
農林中央金庫	…15
三菱UFJ銀行	…16
三井住友銀行	…16
みずほフィナンシャルグループ	…17
三菱UFJ信託銀行	…18
三井住友信託銀行	…18
東京海上日動	…19
三井住友海上	…19
日本生命	…20
第一生命	…20
野村証券	…21
みずほ証券	…22
三井住友カード	…23

【メーカー】

東レ	…26
旭化成グループ	…26
AGC	…27
富士フイルム	…27
三菱ケミカル	…28
住友化学	…28
三菱マテリアル	…29
住友電工	…29
三菱重工	…30
川崎重工	…30
大林組	…31
トヨタ自動車	…32
本田技研	…32
日立製作所	…33
パナソニック	…33
ソニー	…34
富士通	…35
NEC	…35
サントリーホールディングス	…36
味の素	…37
JT	…37
花王	…38

【サービス】

電通	…42
博報堂*	…42
三菱地所	…43
三井不動産	…43
東急不動産	…44
JR東日本	…44
日本郵船	…45
商船三井	…45
JAL	…46
東京電力	…46
野村総研	…47
NTTデータ	…48
NTT東日本	…48

*正式名称:
「博報堂／博報堂DYメディアパートナーズ」

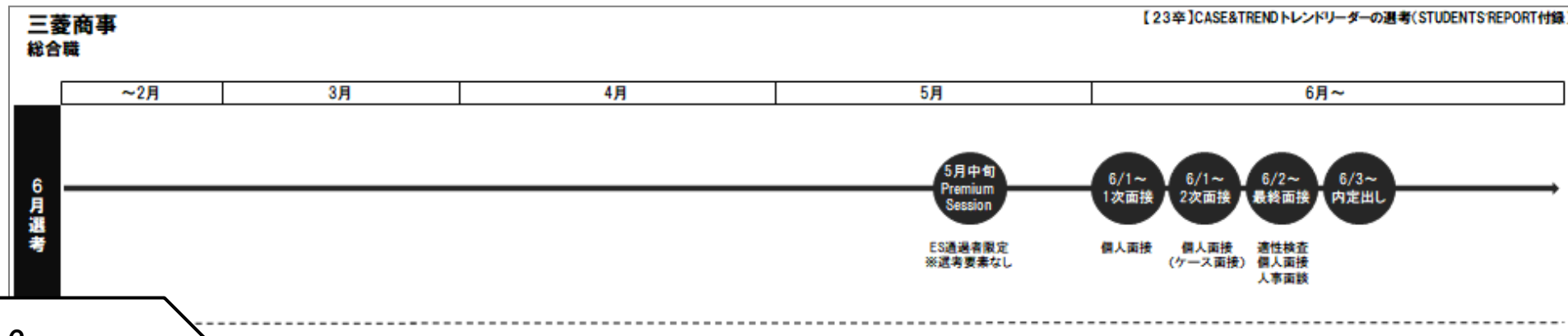
掲載情報について

本誌に掲載している情報は以下の2種です。①と②は併せてお読みください。
資料についてのお問合せ・ご相談にも対応しています。

メインコンテンツ

1トレンドリーダーの 23卒選考ケース集

✓ 事務系総合職（一部専門職）の主な選考ステップ



→P.6-

2 担当リサーチャーによる 業界動向の解説

✓ 業界別のトレンドを
「ブランドポジション」
「スケジュール」
「選考プロセス・手法」
の3つの切り口で、
リサーチャーが解説

→P.6, 12, 24, 40

●ブランドポジション（人気・併願傾向等）

- ※引き続き他業界のトップ企業と併願されるポジションであり、昨今の学生の企業選択基準である「就活偏差値」の上位に君臨。政府系金融との競合は弱くなる傾向。
- ※「とりあえず誰もが受ける」という対象ではなく、早い段階で（明確な意図・意思のもと）商社を受験対象から外す学生も一定存在。
- ※「選考進捗で先行する他社からの内定を受け、（当初は志望していた）商社の受験を断念する」ケースが少なくない。
その一方で、非常に早い段階でコンサルや外資系企業の内定を得た学生が「入社を意志を固められなかったこと、（当初は志望していなかった）商社の受験を再検討するに至る」パターンも見られる。
- ※トップ学生の商社志望は三大商社（三菱商事・三井物産・伊藤忠商事）に集中。「二大商社+伊藤忠」という言い方をする学生もいる。
- ※「体育会で陽キャでない」と（商社には）入社できないという固定観念が広まっている懸念がある。
- ※「BtoCビジネス/マーケティングに強い商社」の象徴が、主にインターンの影響により、伊藤忠商事から三井物産に移行しつつある。
- ※「ビッグスクールなBtoBビジネス」の学生に対するブランドパワーが（商社に限らず）全般的に低下しており、そのことは商社ブランド内に対しても強くマイナスに働いている。

●スケジュール

- ※三大商社のうち、三井物産と伊藤忠商事が早期の内定出しを実施。
冬～早春までに実施したインターンからは、春先には内定出し（参加者全員に対する内定出しではない）。
- ※「6/1以降に最終面接や意思確認の実施」「早期内定は特定のルートもしくはコースのみ」といった体裁を保持しつつも、商社でも「6/1以前の選考～実質的な内定出し」へと強く傾く。
三菱商事と住友商事は例年通り、6/1に1次選考開始のルートを維持。

さらに詳しい情報を提供します（WEBミーティング）



◆ 未掲載情報を含めた詳細の解説、自社の採用への活かし方をリサーチャーがご助言します

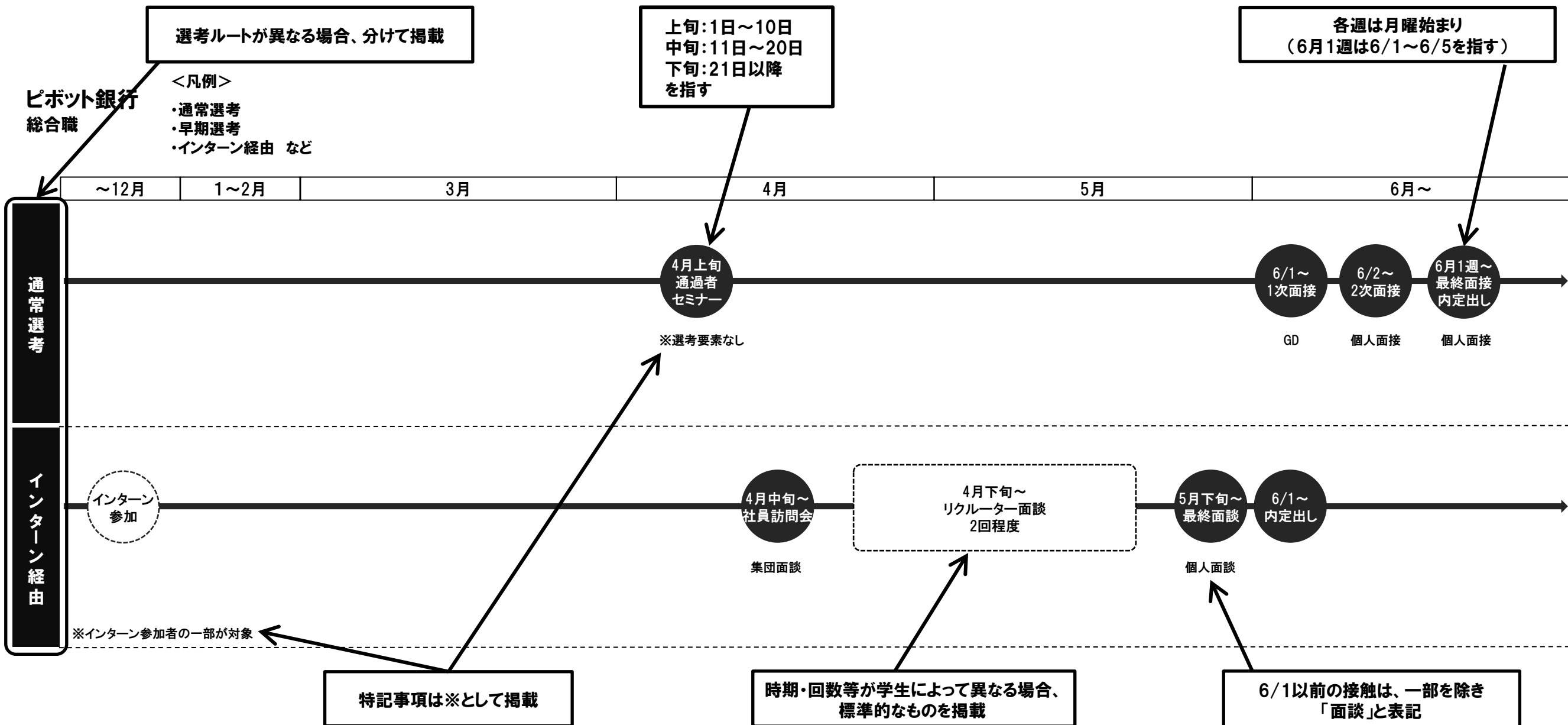
◆ 担当：株式会社ピボット シニアコンサルタント 豊崎まで

☎ 050-3649-7671

✉ support@pivot-inc.co.jp

🌐 <https://www.pivot-inc.co.jp/>

選考ケースページの見方(凡例)



商社

Trend analysis

担当リサーチャーによる業界動向の解説

●ブランドポジション(人気・併願傾向等)

- * 引き続き他業界のトップ企業と併願されるポジションであり、昨今の学生の企業選択基準である「就活偏差値」の上位に君臨。政府系金融との競合は弱くなる傾向。
- * 「とりあえず誰もが受ける」という対象ではなくなっている。早い段階で(明確な意図・意思のもとに)商社を受験対象から外す学生も一定存在。
- * 「選考進捗で先行する他社からの内定を受け、(当初は志望していた)商社の受験を断念する」ケースが少なくない。
その一方で、非常に早い段階でコンサルや外資系企業の内定を得た学生が「入社を意志を固めきれなかったことで、(当初は志望していなかった)商社の受験を再検討するに至る」パターンも見られる。
- * トップ学生の商社志望は三大商社(三菱商事・三井物産・伊藤忠商事)に集中。「二大商社+伊藤忠」という言い方をする学生もいる。
- * 「体育会で陽キャでないと(商社には)入社できない」という固定観念が広まっている懸念がある。
- * 「BtoCビジネス/マーケティングに強い商社」の象徴が、主にインターンの影響により、伊藤忠商事から三井物産に移行しつつある。
- * 「ビッグスケールなBtoBビジネス」の学生に対するブランドパワーが(商社に限らず)全般的に低下しており、そのことは商社ブランドに対しても強くマイナスに働いている。

●スケジュール

- * 三大商社のうち、三井物産と伊藤忠商事が早期の内定出しを実施。
冬～早春までに実施したインターンからは、春先には内定出し(参加者全員に対する内定出しではない)。
- * 「6/1以降に最終面接や意思確認の実施」「早期内定は特定のルートもしくはコースのみ」といった体裁を保ちつつも、商社でも「6/1以前の選考～実質的な内定出し」へと強く傾く。
三菱商事と住友商事は例年通り、6/1に1次選考開始のルートを維持。

- * 6/1に選考開始する企業を含め、6/2～6/3には内定出しが始まるスピード選考は例年同様。
- * 昨年までは選考ステップ間にインターバルがあった丸紅の「オープン採用」も、23卒では他社同様のスピード選考となった。

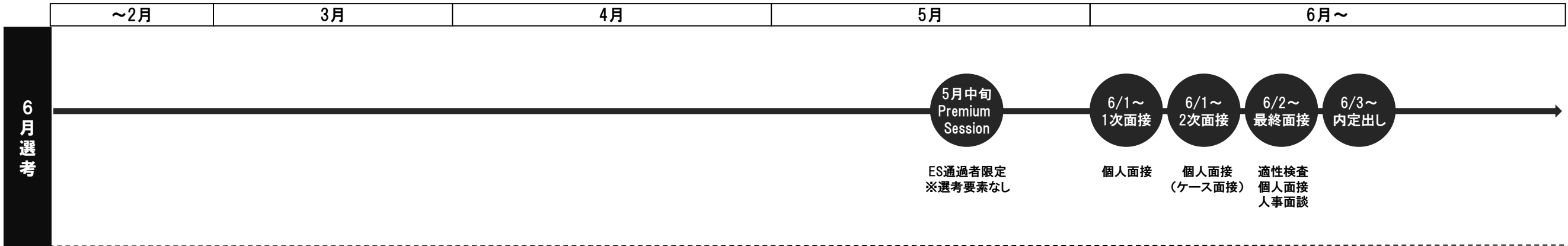
●選考プロセス・手法

- * インターン経由の内定出し(比率)は増加する傾向。
- * 三井物産では、インターン参加を本選考参加の条件(入口)とした。より早期に実施する専門性を特定したインターン3種(マーケティング、DX、修士・博士課程向け)と、3～5月に実施するオープンインターンがある。参加後の座談会イベント→インターン通過者に対する6/1～の最終面接→6/2以降の懇親会や本社呼び出し等、(内定受諾の)クロージングプロセスにも隙がない。
- * 商社独自の設問傾向として、ESでは「学生の人柄を探ることに特化したもの」が目立ち、企業理解を求める質問は最小限あるいは求めないこともある。
住友商事では、一般的なES(ガクチカや志望動機等)は求められない。
- * 三菱商事がPR動画の選考を取りやめるなど、面接前のスクリーニングには試行錯誤が見られる。
- * 6/1にオンライン面接ツールharutakaに不具合が発生し、利用企業では即時の対応が必要となった。三菱商事は、面接時間を後ろにずらす、zoomによる面談に切り替える等に対応。(なお、オンライン面接ツールharutakaは今年の同時期にも不具合が発生している)
- * 最終面接は基本的に対面で実施。豊田通商のみ全ての面接をオンラインで実施。
- * 三菱商事と三井物産は引き続きケース面接を実施。設問やフィードバックの傾向を観察すると、コンサルのケース面接評価がMECE・ロジックの整合性を重視しているのに対し、商社のケース面接では社会やビジネスに対する感度の高さ、実現可能性の高い施策の構築力を重視していると見られる。

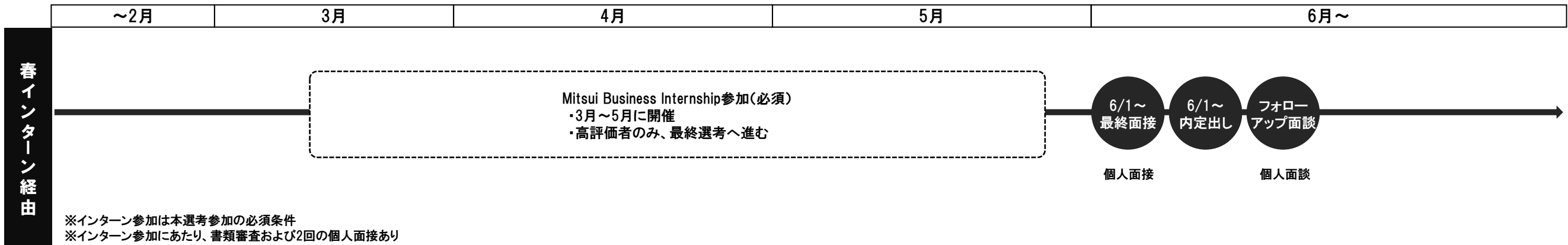
商社

三菱商事	・・・8
三井物産	・・・8
伊藤忠商事	・・・9
住友商事	・・・9
丸紅	・・・10
双日	・・・10

三菱商事
総合職



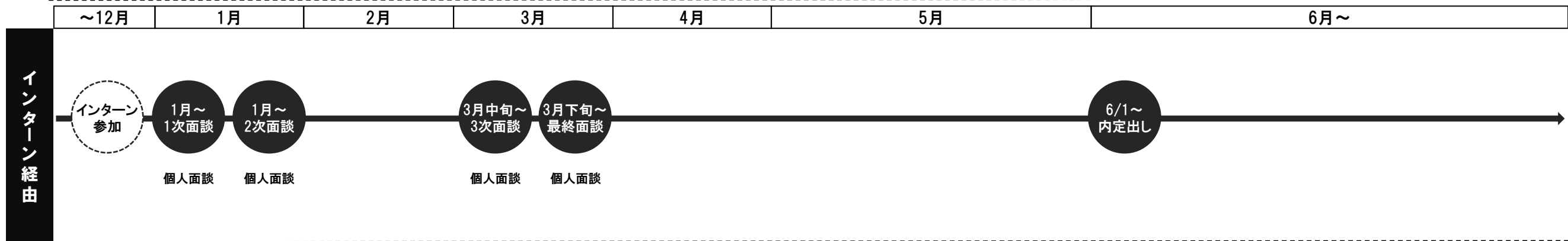
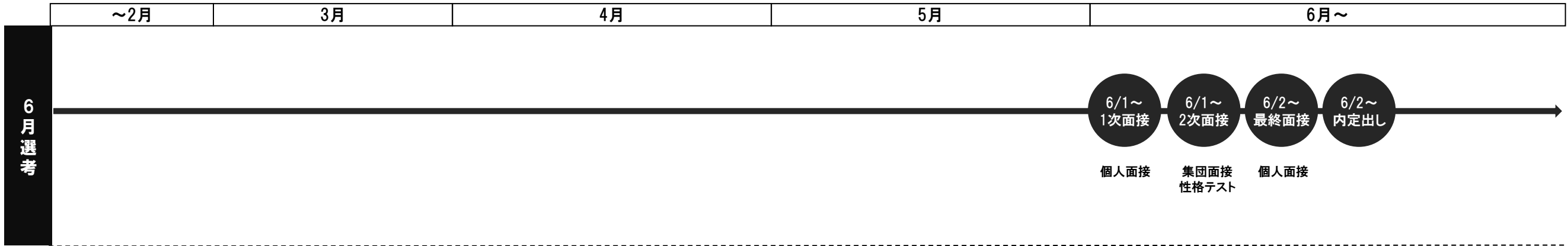
三井物産
担当職



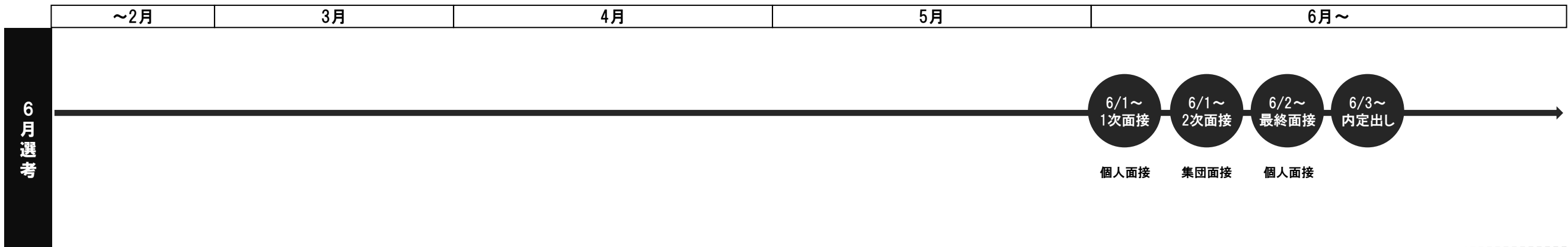
冬インターン経由



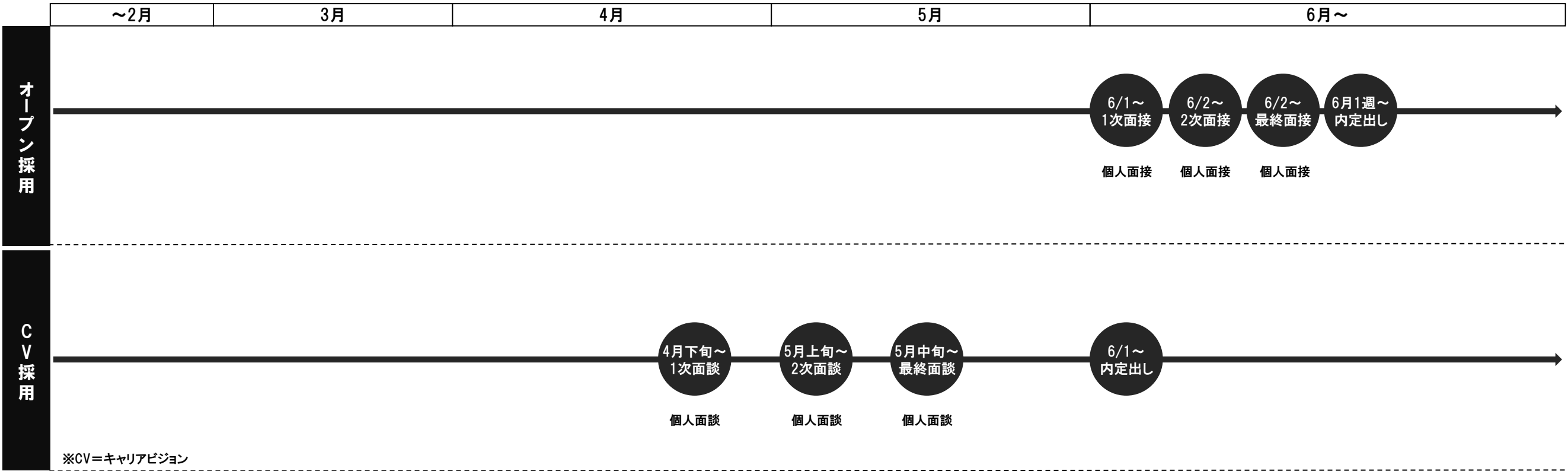
伊藤忠商事
総合職



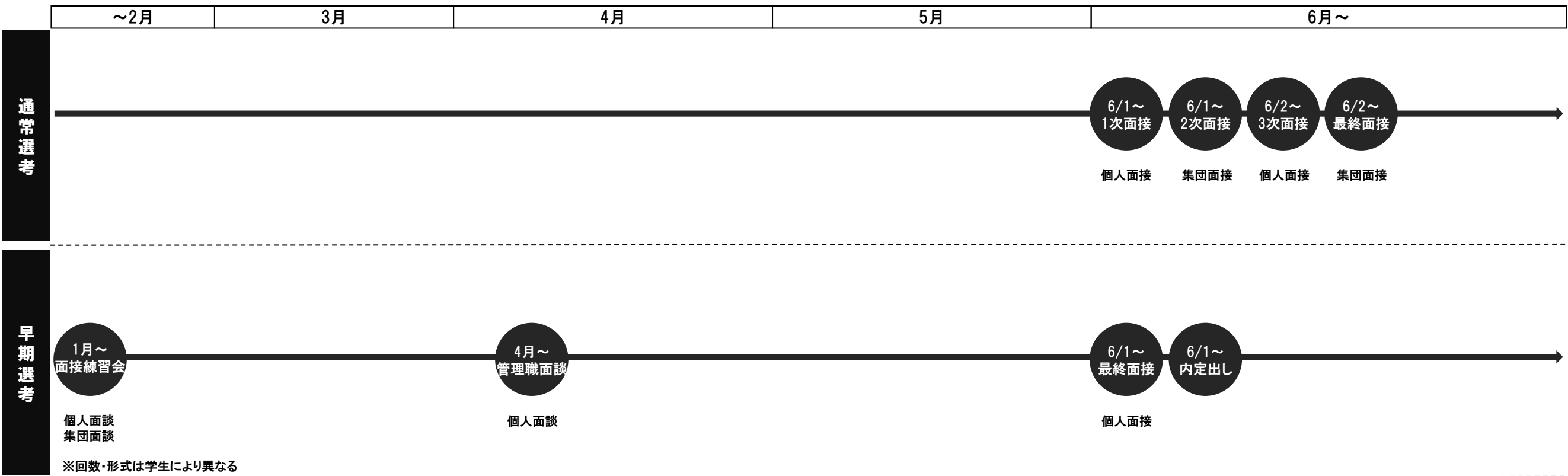
住友商事
基幹職



丸紅
総合職



双日
総合職



金融

Trend analysis

担当リサーチャーによる業界動向の解説

●ブランドポジション(人気・併願傾向等)

- * 「社会貢献志向の高まり」「ブラックイメージによる国家公務員の忌避」「DBJのマス広報強化」などが影響し、早期～本エントリー時の政府系金融のブランドが上昇。裾野は、日銀・DBJ・JBICのみならず、農林中金・日本公庫・商工中金にも広がる。人気(応募層)が広がったためにミスマッチも生まれており、内定者確保(内定承諾に向けた口説き)には課題が発生。
- * 専門別募集コース設定の影響もあり、メガバンク・証券を中心に「専門性が求められる」イメージが高まり、気軽な併願先から本命として受験する方向へシフトしつつある。
- * 「本命化」「全体としての採用数低減傾向」を受けて、事業的な接点の薄い業界との併願は減ってきている(他業界からすると「金融とバツティングしなくなった」という体感が生まれている)。
- * 金融各社の広報活動の成果により、「コンサル的な仕事」という認知が広まる。総合コンサルの受験者の絶対数が増加したことも相まり、結果として総合コンサルとの併願が増加。
- * 東京海上日動の「(業界志望に関係なく)受けてみるべきインターン」ポジションは健在だが、上位校からの人気にはやや驕り。

●スケジュール

- * 大幅なスケジュールの変更はないが、選考日程を微修正している企業が多い(1～2週間程度の前倒しや後ろ倒し)。
- * 6月1日～初旬の意思確認にこだわらなくなっている。多くが5月末までにはおおよそ内定を出し切り、意思確認もすませる。
- * 早期ルートでは、3月中旬頃から内定出しがスタート。

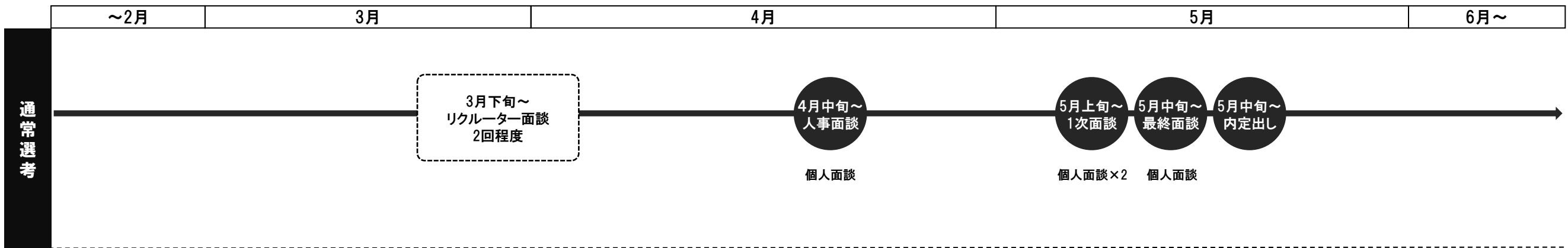
●選考プロセス・手法

- * メガバンク・証券の募集コースの設定(区分や名称)は、外資金融と同様になりつつある。
- * スクリーニングでは「リクルーター面談で学生を選り分け人事面接へと送り込む」従前の手法が健在。その一方で「リクルーター面談に拠らない手法」を試すケースがみられる。
 - ・インターン経由選考者に対し、AI選考とリクルーター面談後のGDを導入: 農林中金
 - ・インターン参加者はリクルーター面談を免除: 三井住友信託銀行
 - ・インターン参加者フォローとして2月にビジコンを実施: 三井住友海上 など

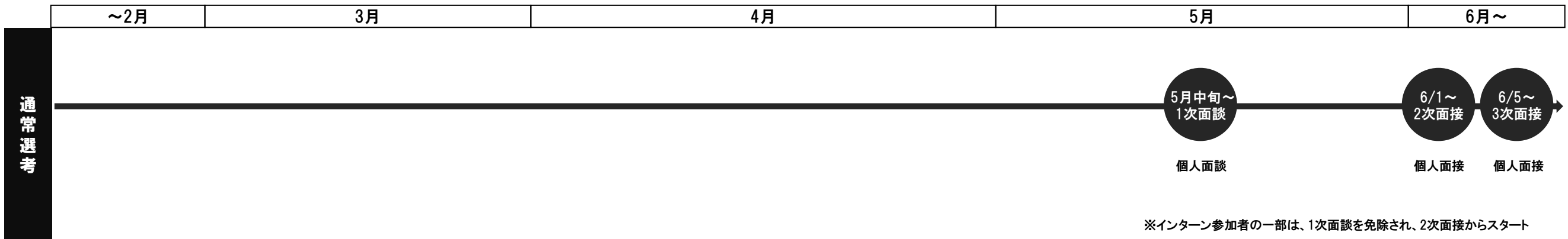
金融

日本銀行	・・・14	三井住友信託銀行	・・・18
国際協力銀行	・・・14	東京海上日動	・・・19
日本政策投資銀行	・・・15	三井住友海上	・・・19
農林中央金庫	・・・15	日本生命	・・・20
三菱UFJ銀行	・・・16	第一生命	・・・20
三井住友銀行	・・・16	野村證券	・・・21
みずほフィナンシャルグループ	・・・17	みずほ証券	・・・22
三菱UFJ信託銀行	・・・18	三井住友カード	・・・23

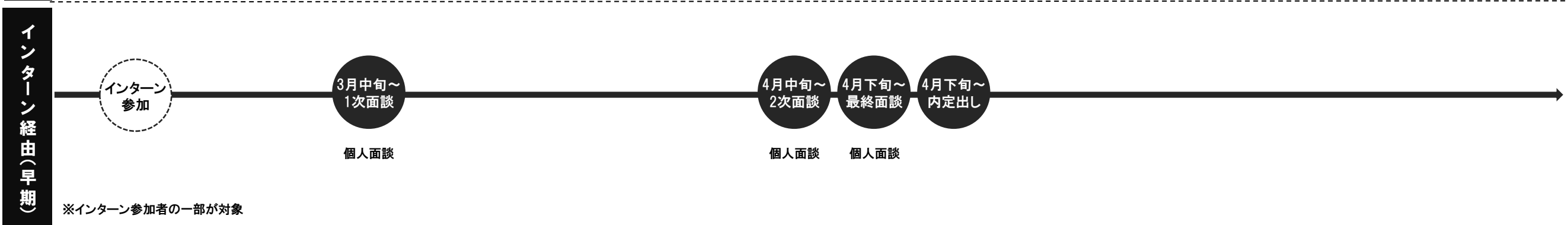
日本銀行
総合職



国際協力銀行
総合職



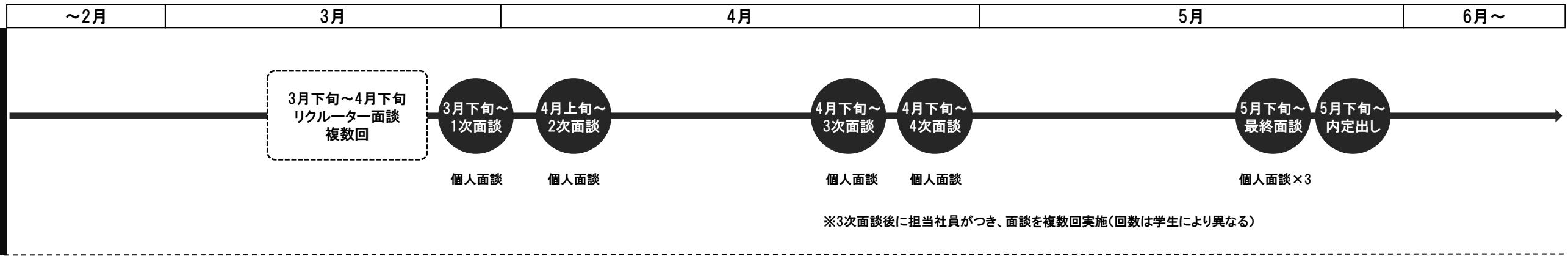
インターン経由(早期)



日本政策投資銀行

総合職

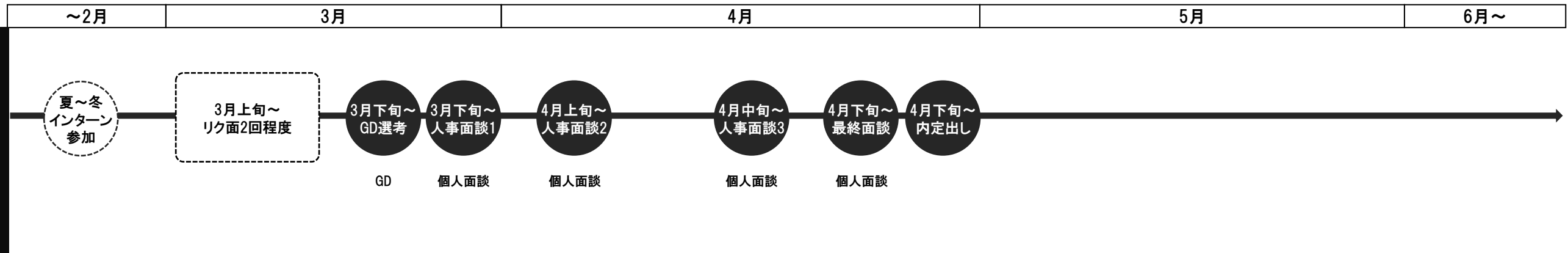
通常選考



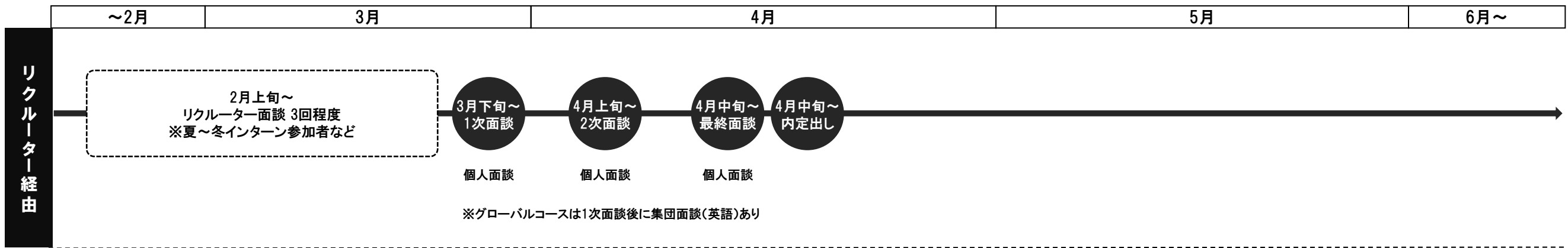
農林中央金庫

総合職

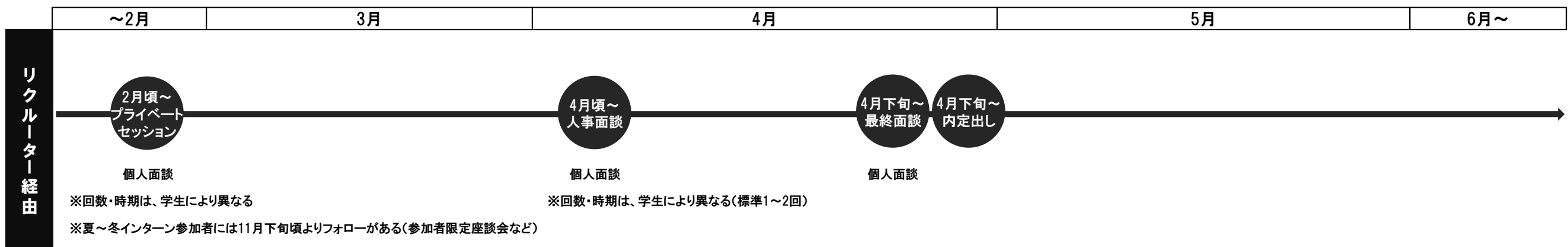
インターン経由

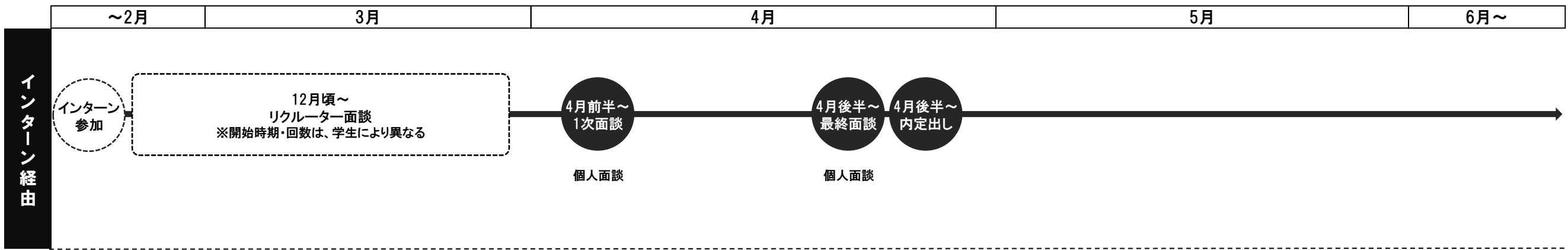


三菱UFJ銀行
総合職(オープンコース/グローバルコース)

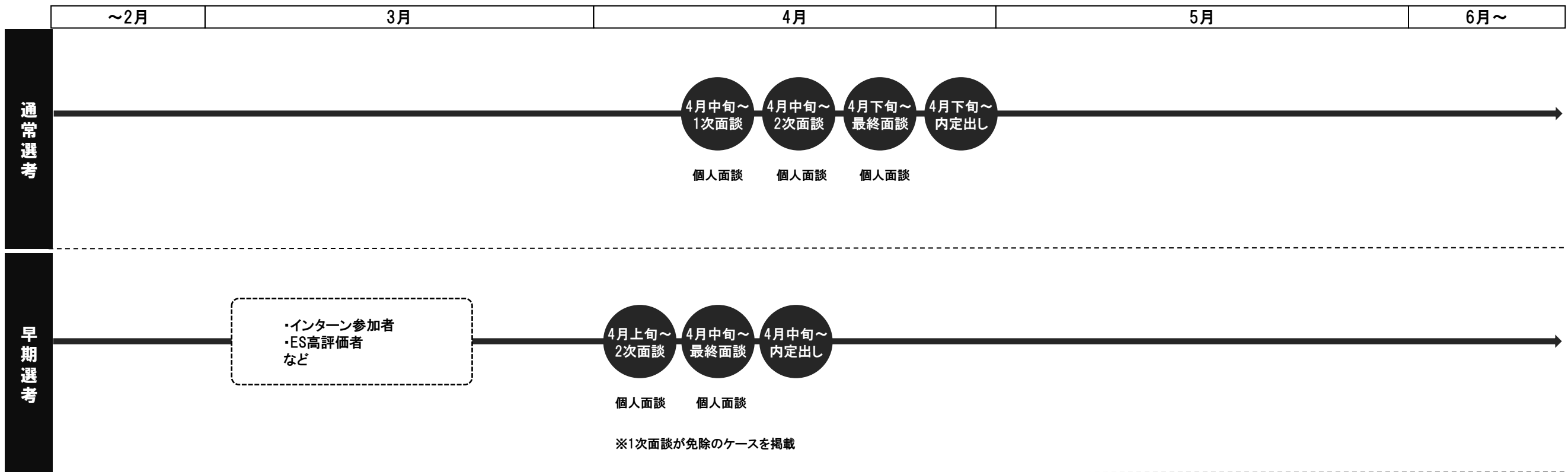


三井住友銀行
総合職

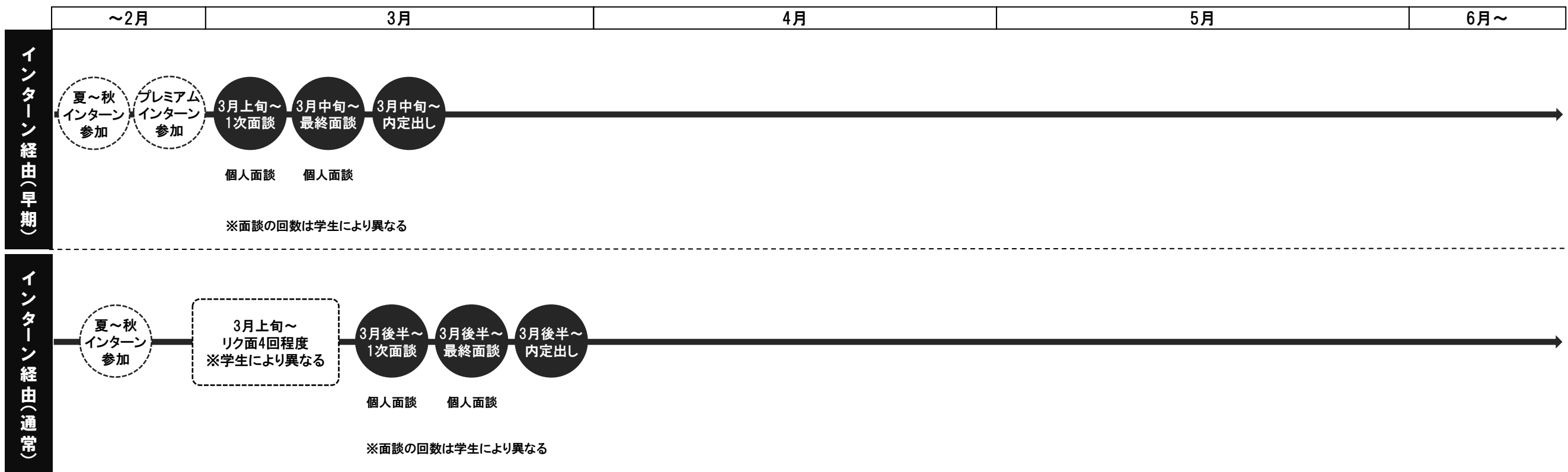




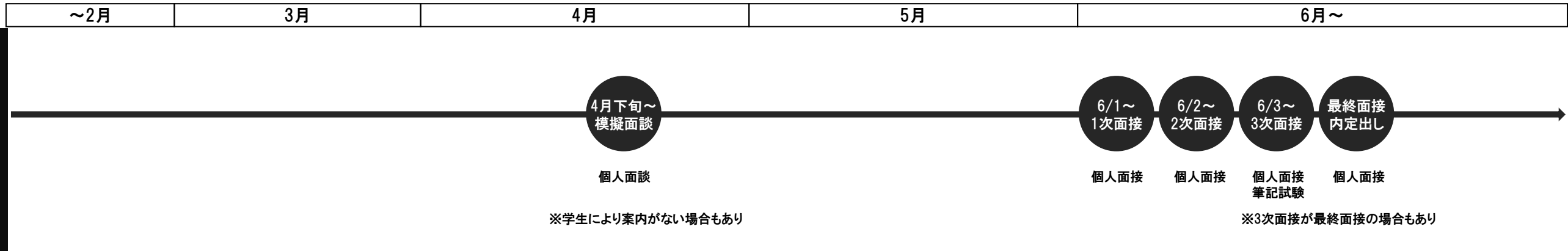
三菱UFJ信託銀行
総合職(一般採用オープン 全国コース)



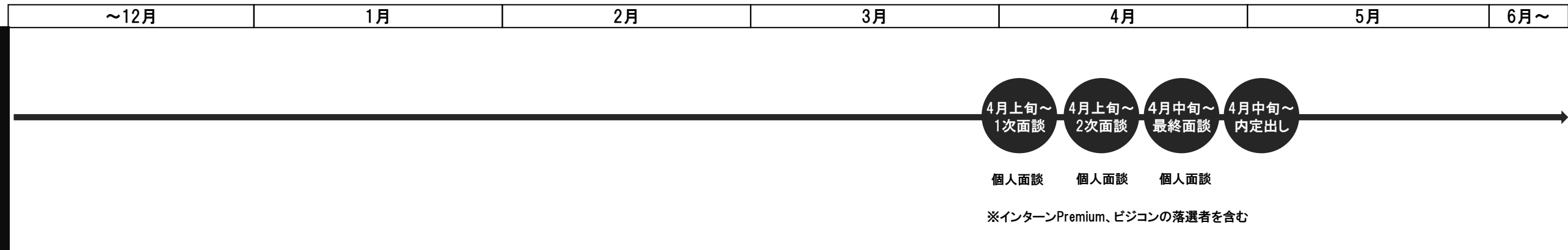
三井住友信託銀行
総合職(Gコース 全国転勤型)



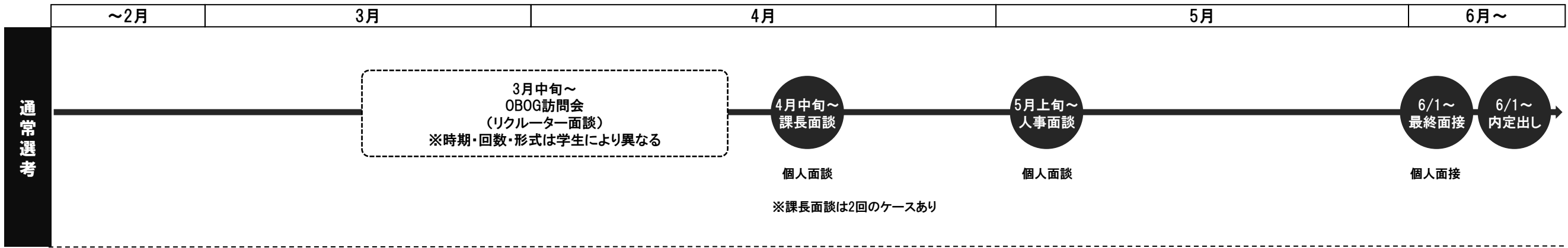
東京海上日動
総合職(グローバルコース)



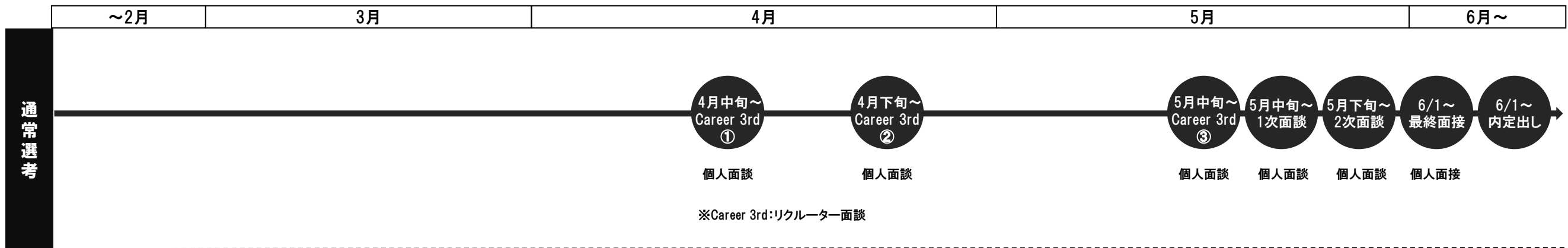
三井住友海上
総合社員(グローバルコース)



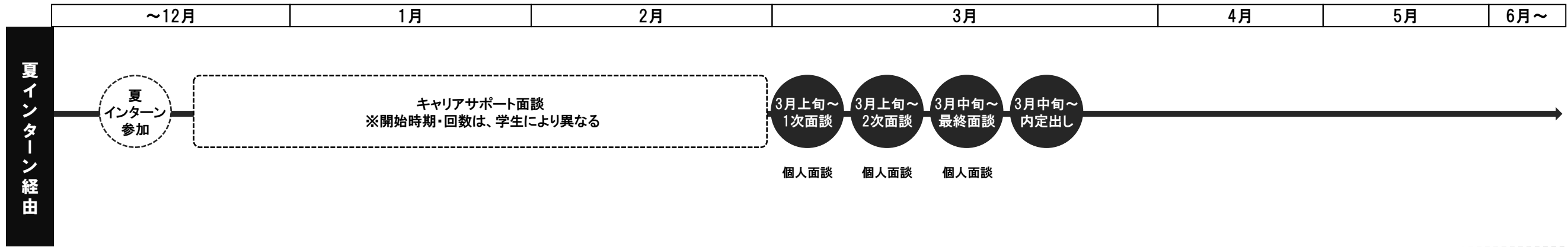
日本生命
総合職



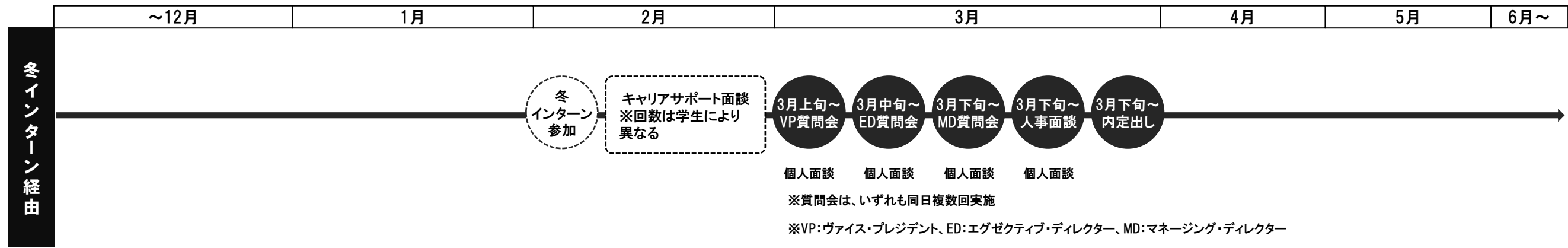
第一生命
基幹総合職(G型・オープンコース)



野村証券
オープンコース



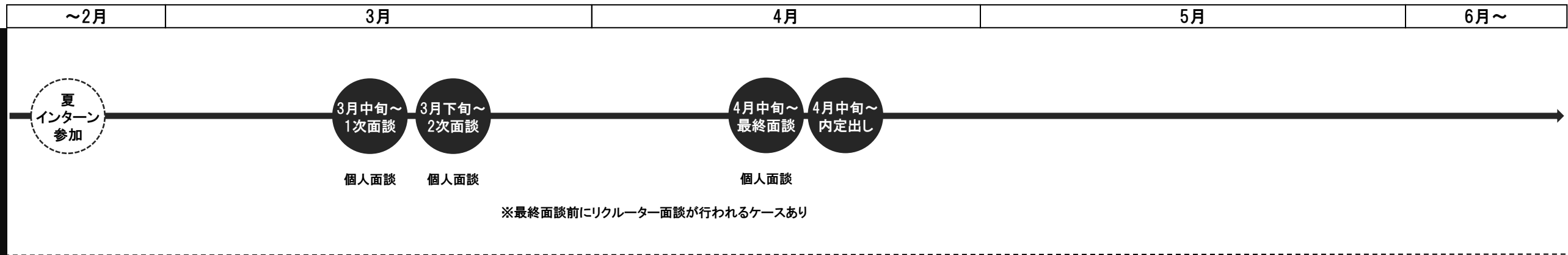
野村証券
インベストメント・バンキングコース



みずほ証券

総合コース

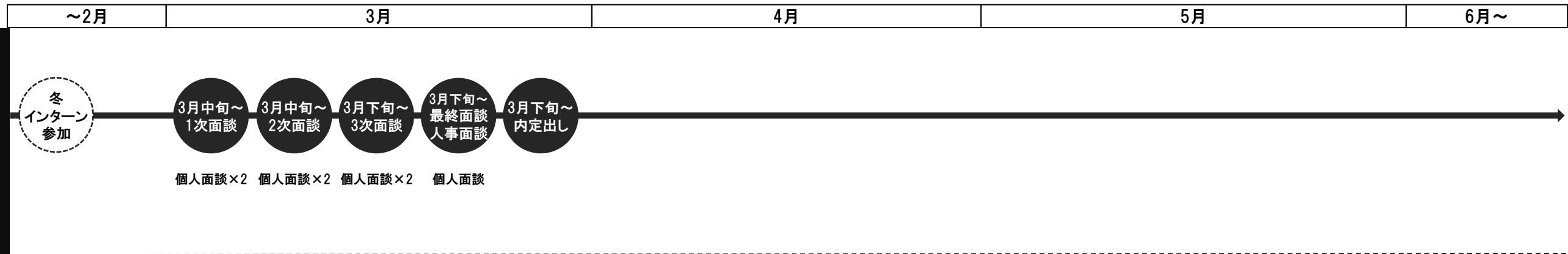
インターン
経由

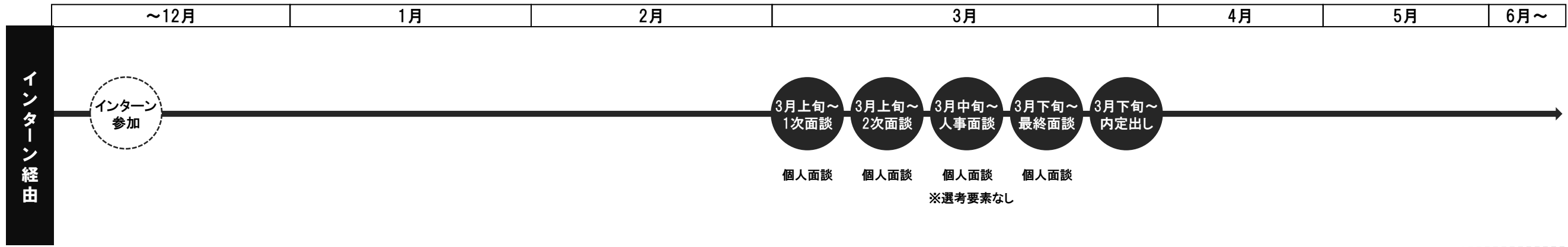


みずほ証券

グローバルインベストバンキング(GIB)コース

インターン
経由





メーカー

Trend analysis

担当リサーチャーによる業界動向の解説

●ブランドポジション(人気・併願傾向等)

- * 他業界を本命とし、メーカーを併願する流れが縮小。商社など他業界志望者の取り込みが難しくなる。メーカーを中心に受ける層の中でパイを奪い合う形。
- * 製品にひもづく業界・企業を「有形商材ビジネス」、ひもづかない業界・企業を「無形商材ビジネス」とする志望軸の区分が定着。
「無形商材ビジネス」の方が、人が高度な価値提供の源泉というイメージが強い。早い段階で志望軸に組み込まれるため、メーカーは脱落しがち。
- * 「グローバルな競争力」「日本の基幹産業」「ビッグ・ビジネス」など、かつてのキーワードが魅力を失う。結果として「BtoBメーカー」の存在感が低下。メーカーと言えば「BtoC(食品・飲料など)」との認識が広がる。
- * toBメーカーの中では「総合化学」「非鉄金属」などが健闘。
- * 「職種別採用」が多いことも食品・飲料メーカーの人気を支える。特に「マーケティング／デジタルマーケティング」人気が根強い。「外資系メーカー受験者(落選者)」「コンサル内定保持者」からも流入が進む。
- * 業務プロセスのDXがメーカー全般の課題として一気に顕在化。採用側は広報に力を入れるが、学生は「メーカーDX／デジタル関連の仕事」をイメージしきれていない。
- * コーポレート職を中心にリモートワークが進む。採用広報でアピールする企業も出てきており、学生はおおむね好感。

●スケジュール

- * 直接競合する企業間で、選考～内定時期がバラつくケースがみられる(素材・重工など)。先行する企業では内定後の辞退、後ろに回る企業では途中離脱による機会損失につながり、票が読みにくい。
- * 選考開始～途中の日程はほぼ昨年並み。最終面接・内定出しについては、昨年より早まる企業もみられる。
- * 早期選考ルート(インターン経由、リクレーター経由等)の内定出しは4月中旬～下旬に集中。通常ルートでは、5月末までに内定出しを終える。6月の意思確認まで持ち越す企業は減る傾向。

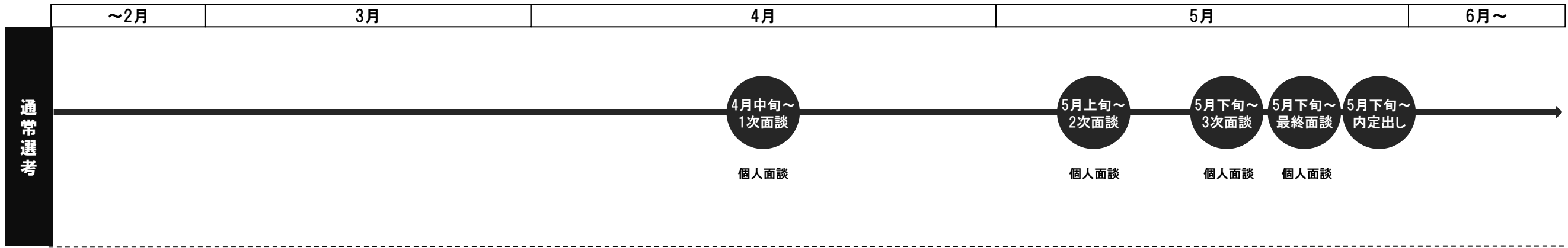
●選考プロセス・手法

- * 年を追うごとに「職種別・部門別」コースを設ける企業が増加。「コース別／オープン」2つの入り口を設け、ジョブ・マッチングを間に入れることで希望分野の調整を図る場合も。
- * 職種や部門の先決めの取組みは好感されている。ただし「配属確約」ではない場合もあり、最終的にスキルの高い学生を取り込めない場合も。
- * 選考プロセスで出会う「社員の人柄」が影響する度合いが他業界と比べても大きい。反面、事業上の強味、差別化ポイントがうまく刺さらない場合も。
- * 選考と選考の間のインターバルが短くなる傾向(待機期間を作らない、コンパクトな日程設計)。早期内定者向けの内定者フォロー施策も拡充。きめの細かさが勝負に。
- * 高評価学生に対する「選考ステップの省略」が一般化する一方、標準のステップ数は増やす企業も見られた。

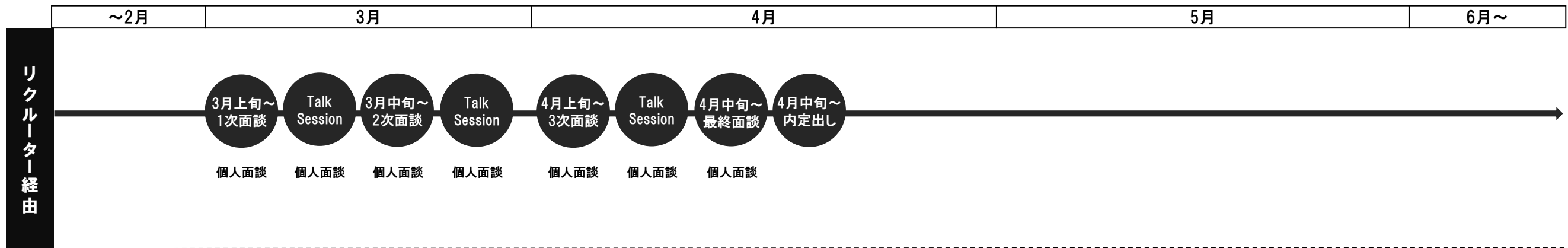
メーカー

東レ	・・・26	トヨタ自動車	・・・32
旭化成グループ	・・・26	本田技研	・・・32
AGC	・・・27	日立製作所	・・・33
富士フイルム	・・・27	パナソニック	・・・33
三菱ケミカル	・・・28	ソニー	・・・34
住友化学	・・・28	富士通	・・・35
三菱マテリアル	・・・29	NEC	・・・35
住友電工	・・・29	サントリーホールディングス	・・・36
三菱重工	・・・30	味の素	・・・37
川崎重工	・・・30	JT	・・・37
大林組	・・・31	花王	・・・38

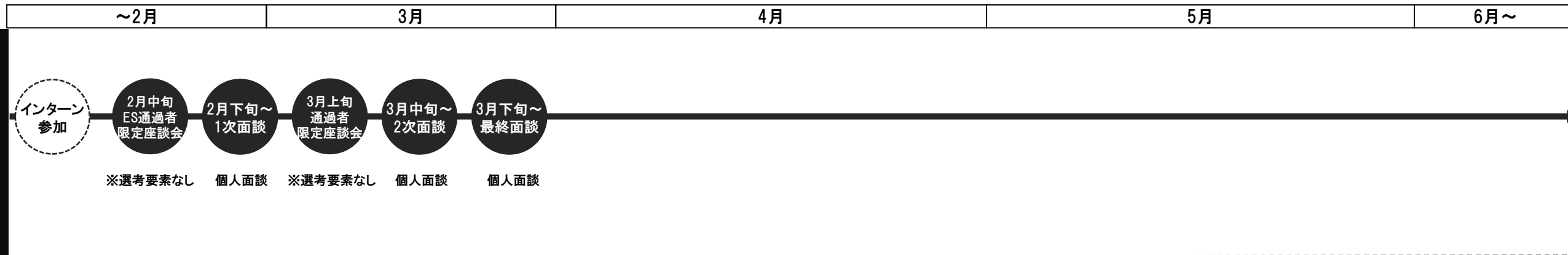
東レ
総合職(事務系)



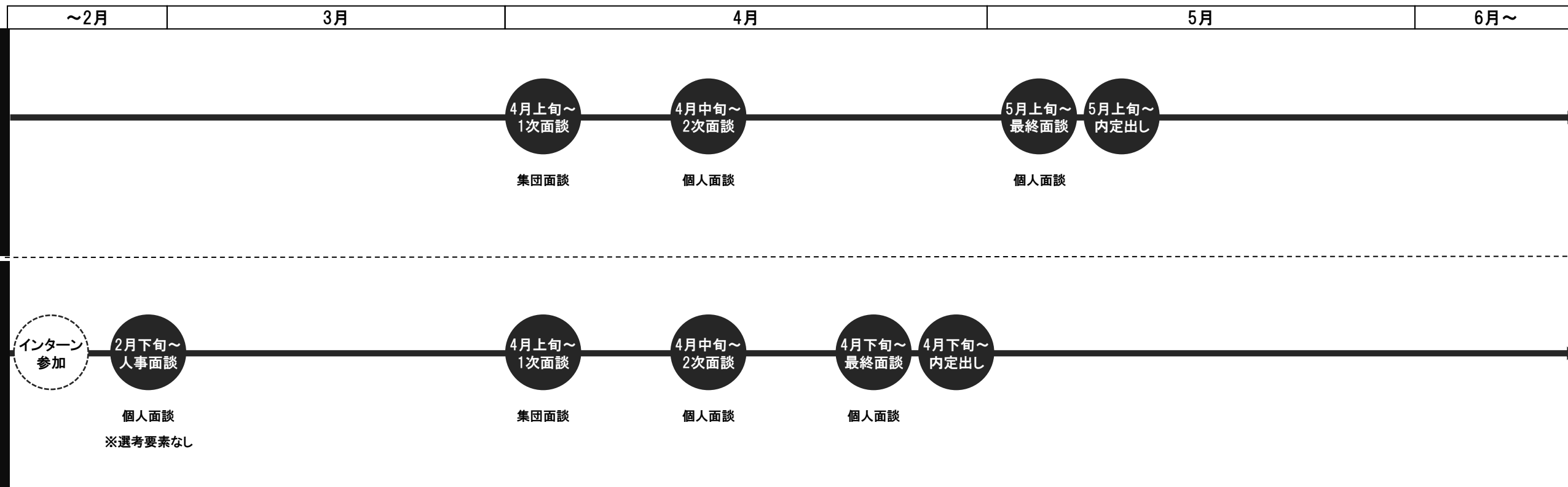
旭化成グループ
事務系(総合職)

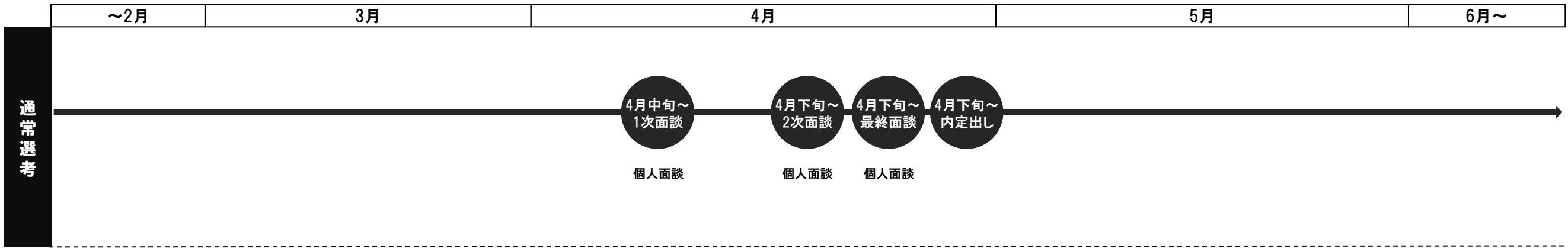


AGC
事務系総合職

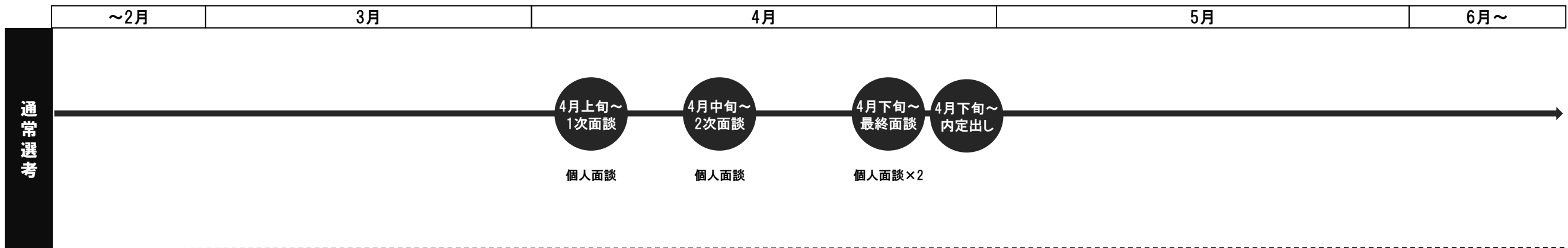


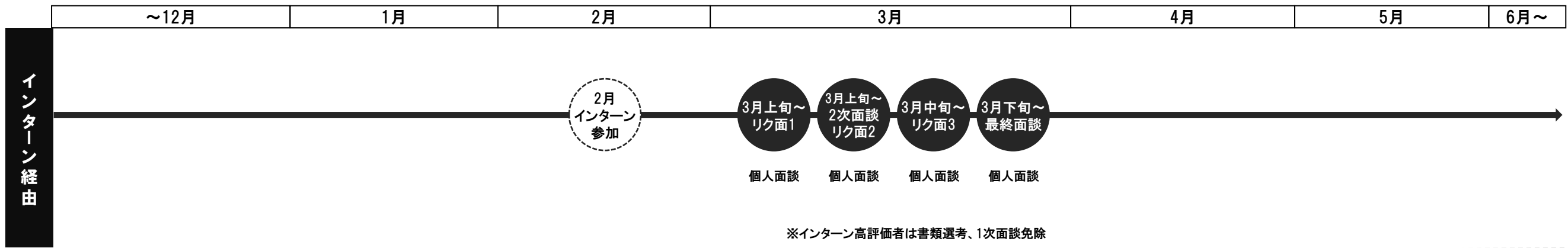
富士フイルム
総合職(事務系)



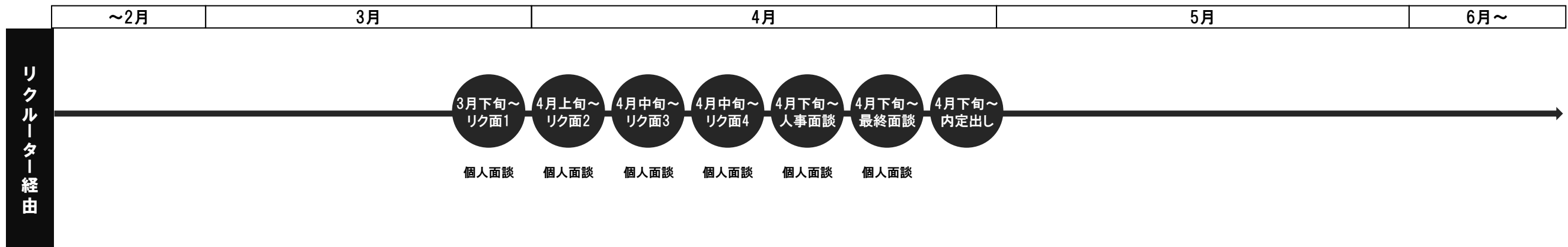


住友化学
事務系クリエイティブスタッフ(総合職)

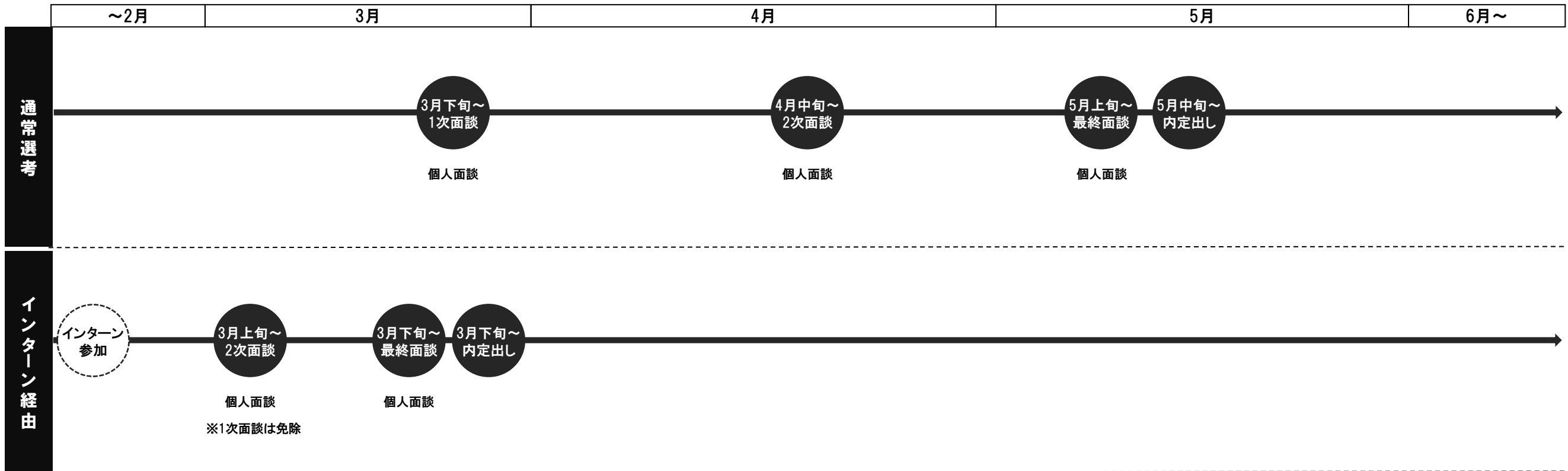




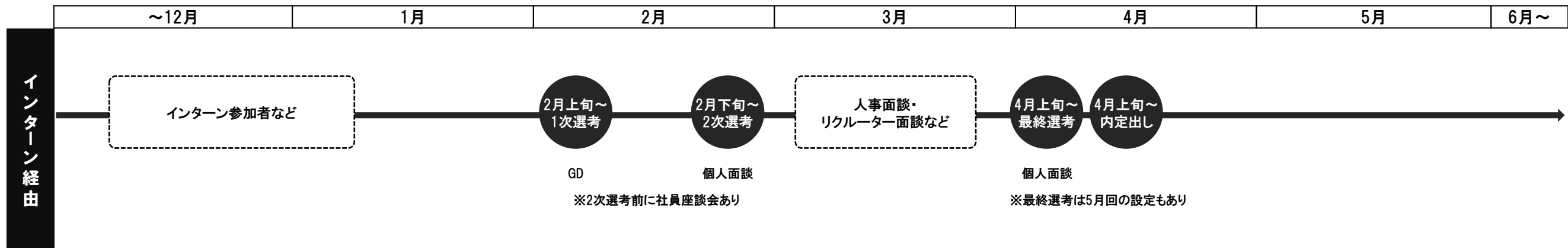
住友電工
事務系総合職

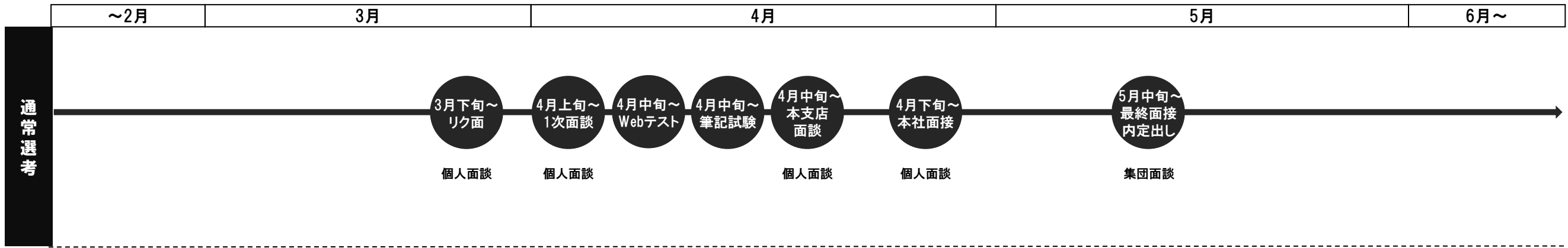


三菱重工
総合職事務系

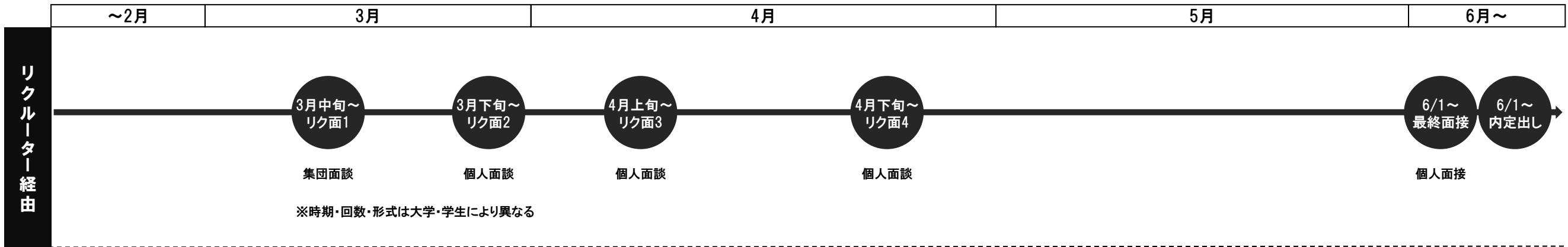


川崎重工
総合職事務系

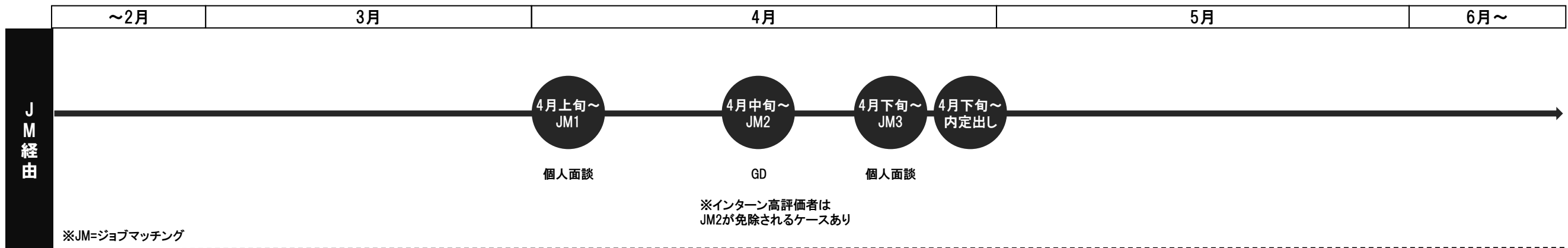




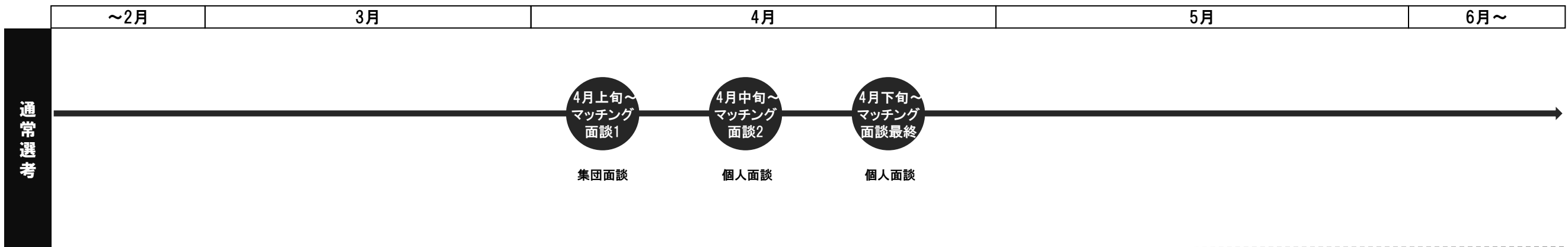
トヨタ自動車
事務職(総合職)



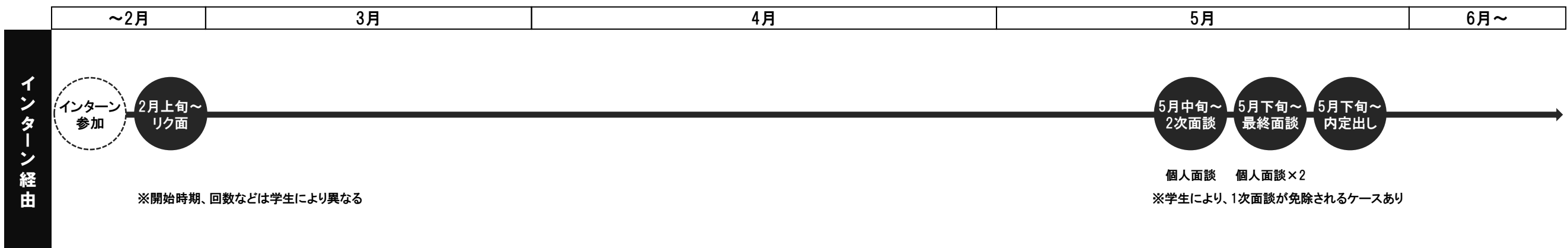
本田技研
事務系総合職



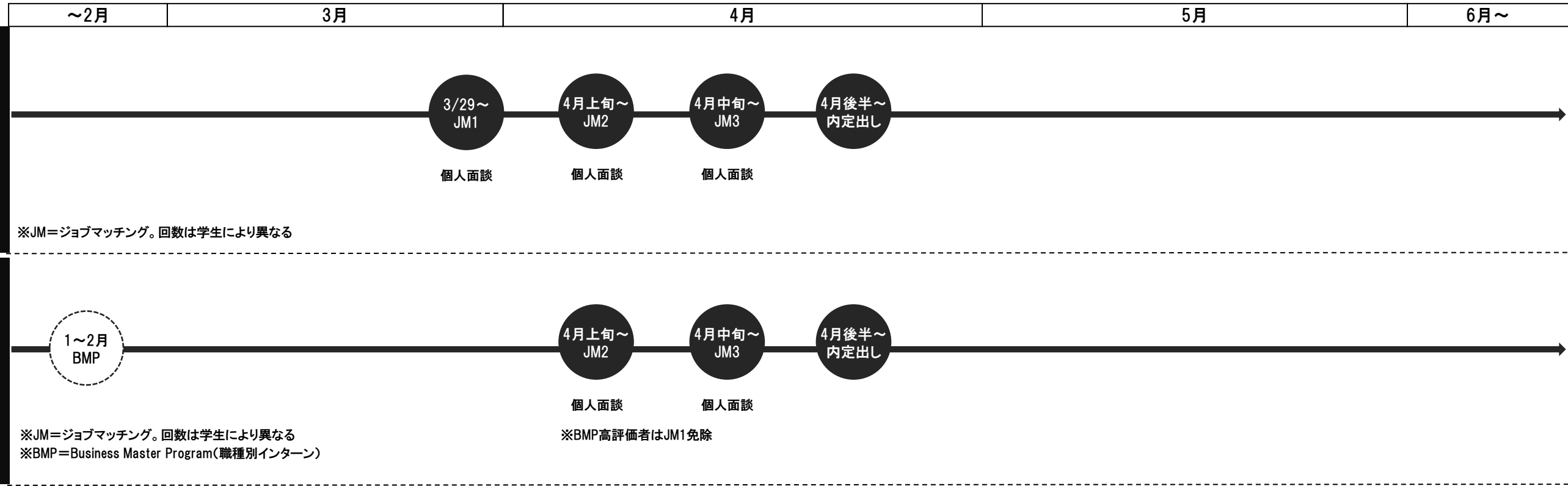
日立製作所
ビジネス・マネジメント系(オープンコース)



パナソニック
事務系コース別採用(6月度選考)

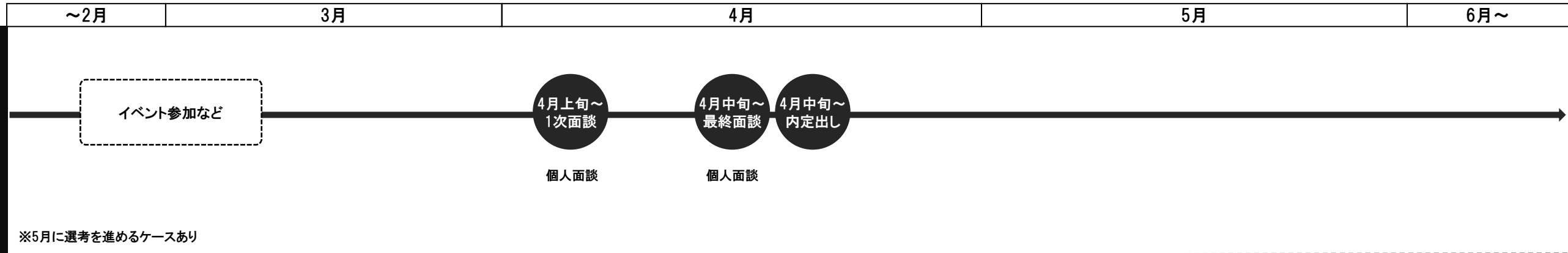


ソニー
事務系(職種別採用)



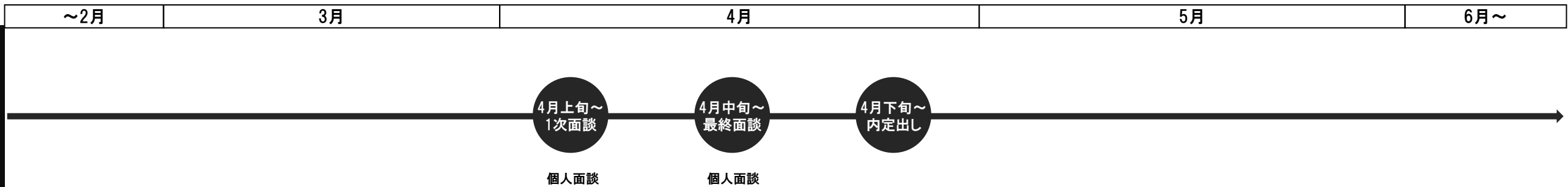
富士通
総合職・OPENコース

通常選考(4月)

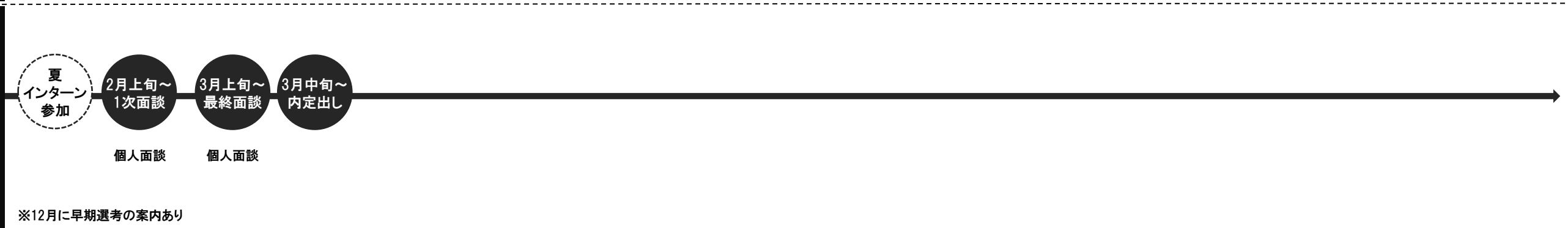


NEC
自由応募コース(営業・スタッフ・SE)

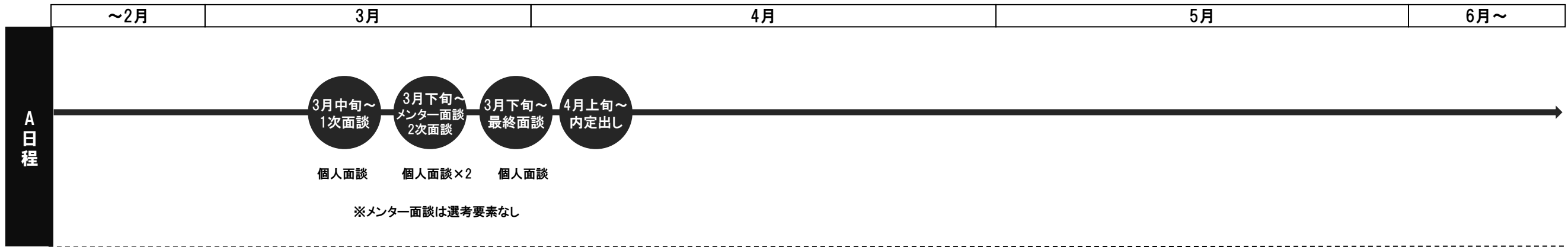
通常選考



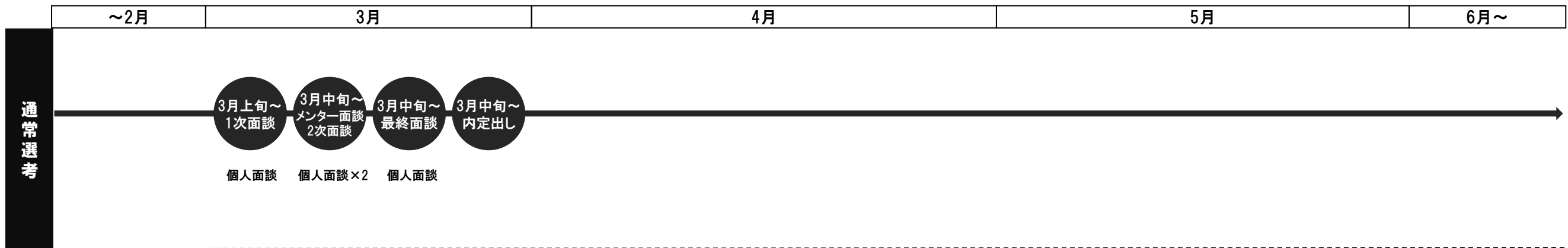
インターン経由



サントリーホールディングス
総合職(ビジネス部門)

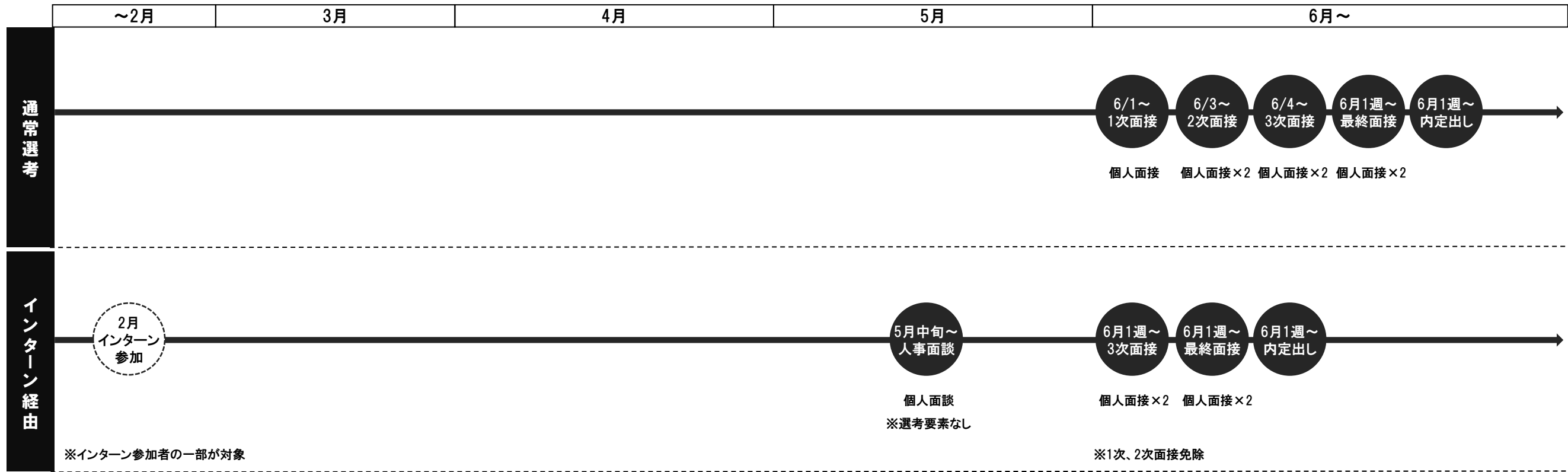


サントリーホールディングス
デジタル職(デジタルテクノロジー部門)



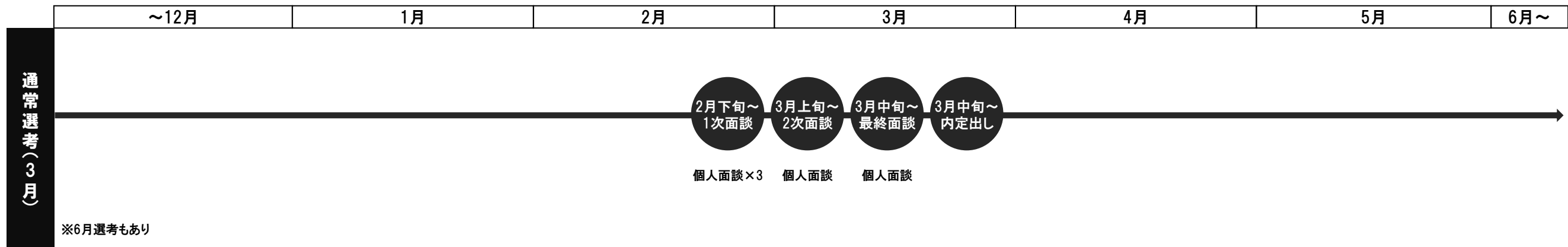
味の素

総合職(セールス/マーケティング グローバル型)



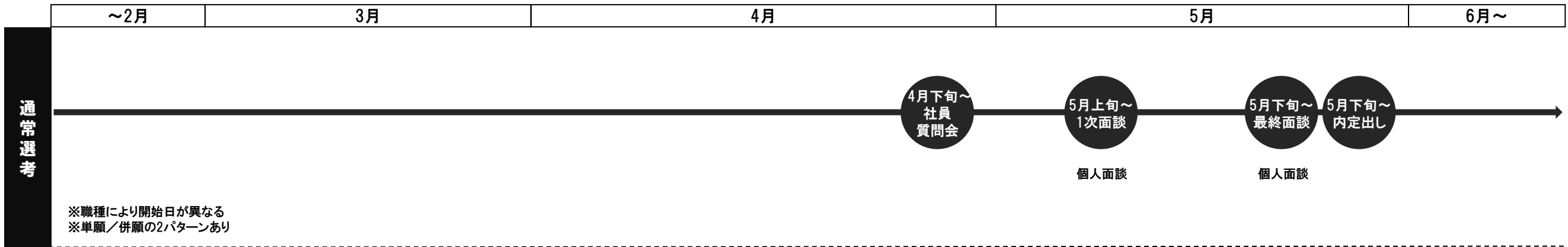
JT

総合職



花王

事務系(職種別)



サービス

Trend analysis

担当リサーチャーによる業界動向の解説

●ブランドポジション(人気・併願傾向等)

- * 総合コンサル(会計系・IT系・業務系など)の人気は引き続き高い。
「選考段階で特定分野の知識を求められない」「(業界全体で積算した)募集人数も多い」ため応募しやすく、戦略コンサル、IBD、政府系金融、商社、デベロッパーなど幅広い業界の滑り止めになっている。
- * 近年、Big4系のFAS(ファイナンシャル アドバイザリー サービス)は人気上昇。
- * デベロッパー人気は堅調で、三井不動産・三菱地所の人気は三菱商事・三井物産と拮抗。
- * 学生の中でのデベロッパーのイメージは、「就活偏差値が高い」「ホワイトで好待遇」「街づくり(創造的で社会的影響が大きそう)」「頭を使うソリューションビジネス」の総和。
認識内容がフワツとしており、それゆえにイメージを覆しにくく採用上で競合した学生に対する差別化・口説きトークの展開が難しい。
- * 広告業界は魅力の切り口が多様化。過去の業界イメージ(「ブラック」「BtoBの交渉力が重要」など)は良くも悪くも失われつつあり、ミスマッチが懸念される。
- * 海運はホワイト志向や海外志向の学生の人気が底堅い。鉄道は業績への見通しから人気低下。航空はパイロット職などが「憧れ枠」として、多様な業界と併願される。

●スケジュール

- * 業界大手企業のうち半数程度が1~2週間の早期化傾向。
ほとんどの企業が5月中までに選考を終え、(意思確認としての)内定出しを6/1まで引っ張る企業は、ほぼいない。
- * 選考・内定時期は2~5月に広く分散。インターン経由では、2月内定も見られる。
- * 競合する業界大手の間で、選考終盤・内定出しの時期が揃っていく傾向。
 - ・電通・博報堂:5月下旬~
 - ・三井不動産・三菱地所:5月下旬~6/1
 - ・日本郵船・商船三井:5月中下旬~

●選考プロセス・手法

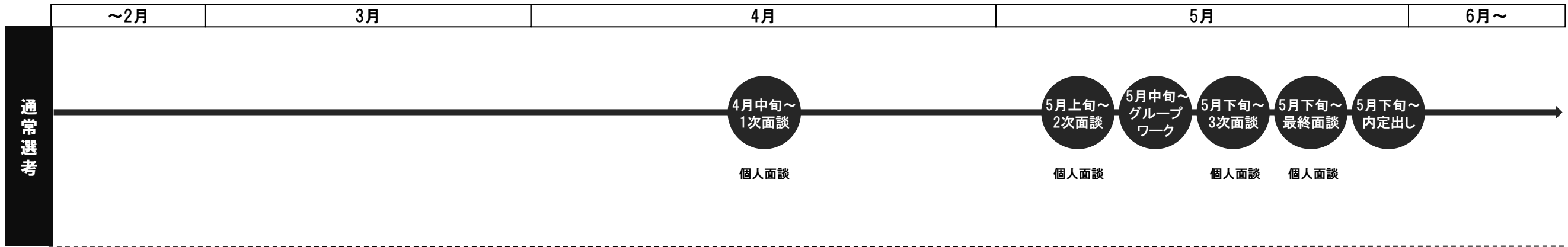
- * 三井不動産・三菱地所では、選考ルートに分岐が複雑化する傾向。また、対面やオンラインでのオフィス見学等、リアリティを補完する施策が好評。
- * 野村総研では経営コンサルタント職の通年採用が定着。
- * JAL・ANAでは、企画職(事務系・技術系)の採用が復活。
客室乗務員についてはJALは復活、ANAは見送り。

サービス

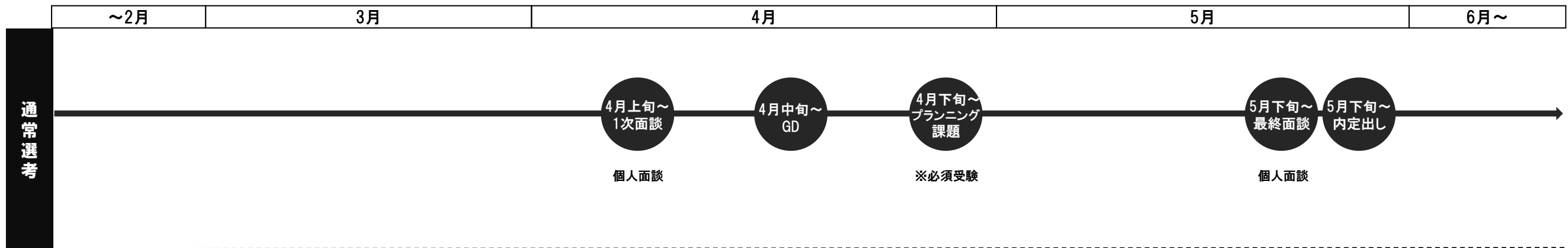
電通	・・・42	日本郵船	・・・45
博報堂*	・・・42	商船三井	・・・45
三菱地所	・・・43	JAL	・・・46
三井不動産	・・・43	東京電力	・・・46
東急不動産	・・・44	野村総研	・・・47
JR東日本	・・・44	NTTデータ	・・・48
		NTT東日本	・・・48

* 博報堂／博報堂DYメディアパートナーズ

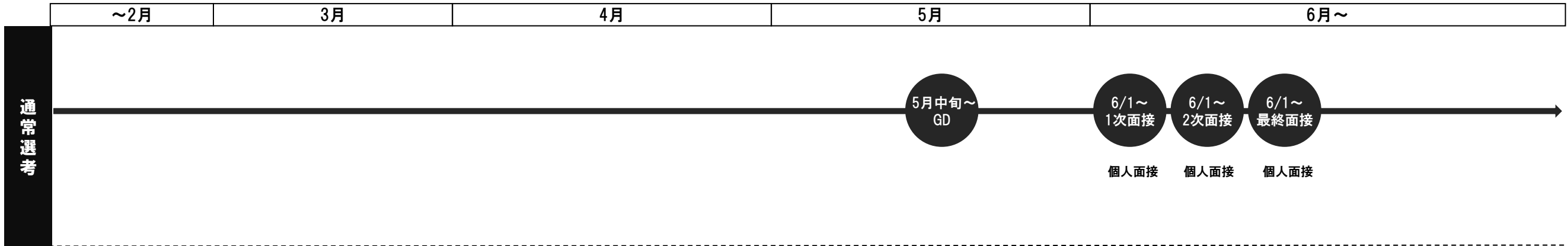
電通
総合職



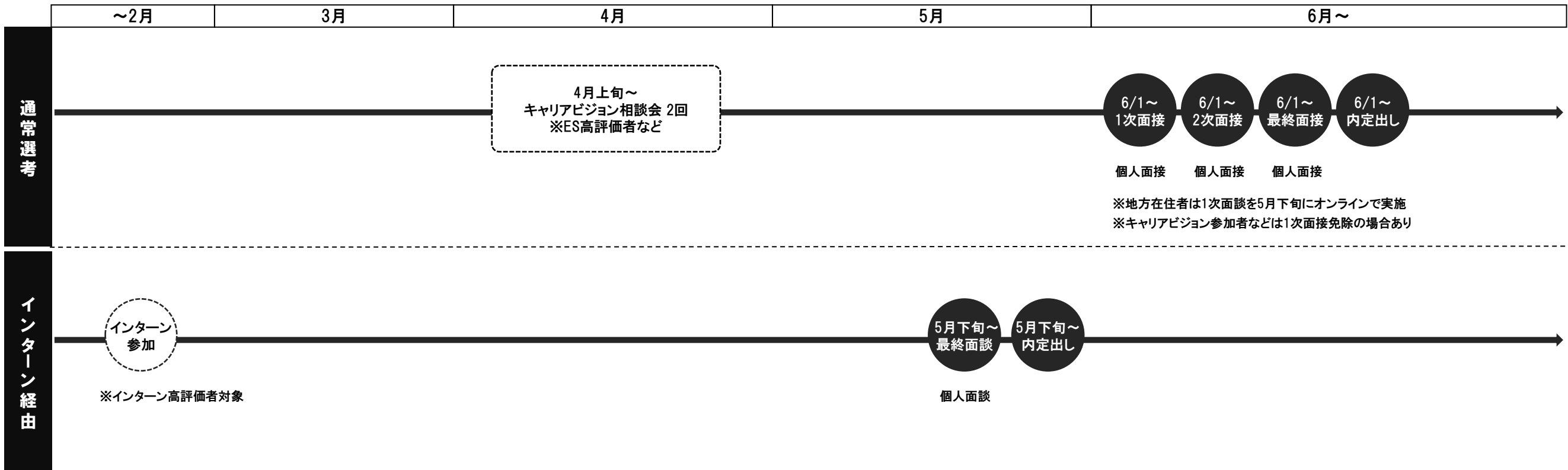
博報堂／博報堂DYメディアパートナーズ
総合職



三菱地所
総合職

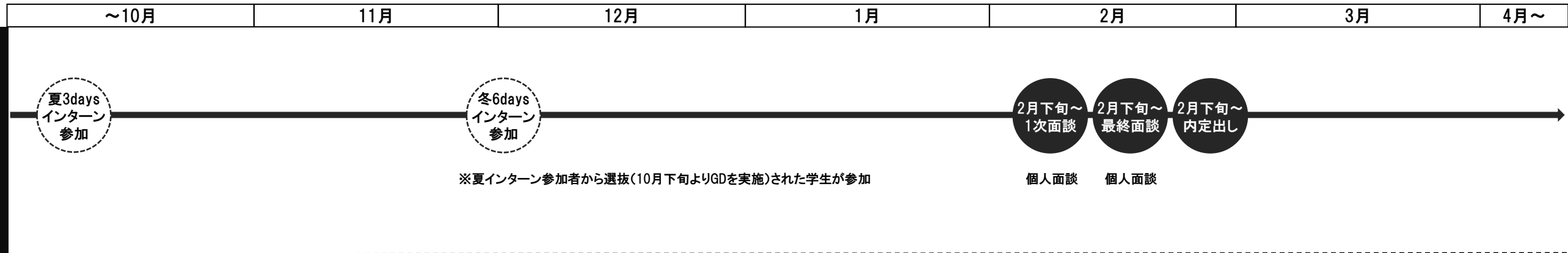


三井不動産
総合職



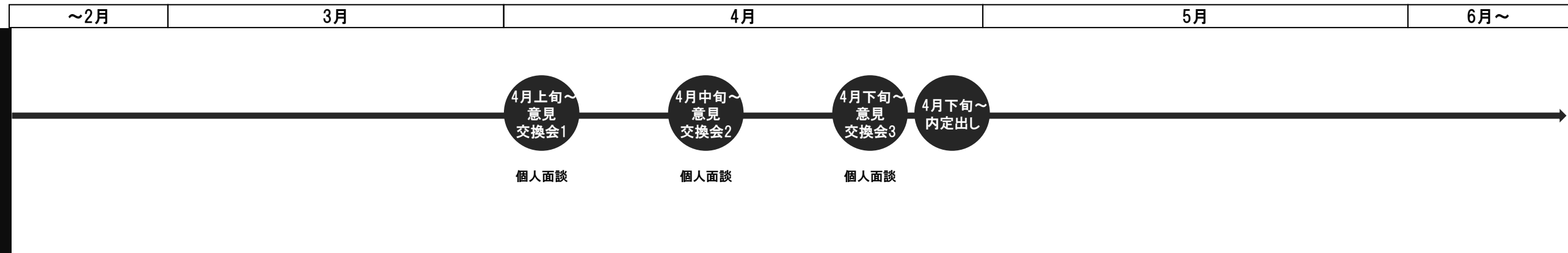
東急不動産
総合職

夏
インターン
経由

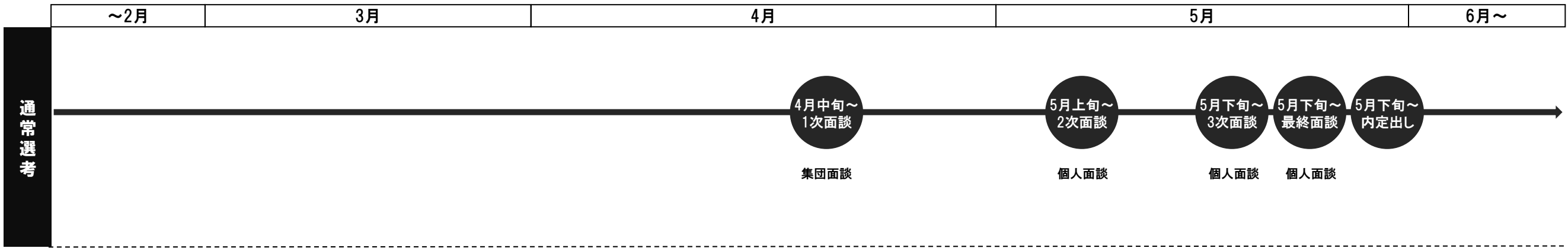


JR東日本
総合職

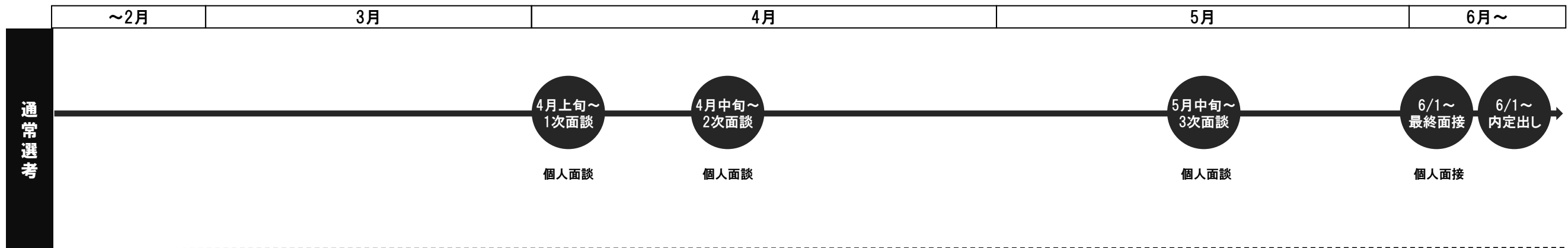
社員
面談
経由



日本郵船
陸上職事務系



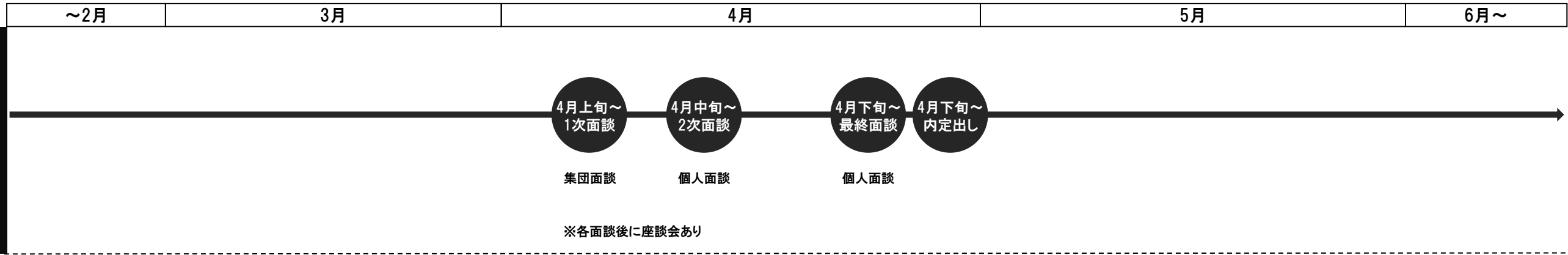
商船三井
陸上総合職(事務系)



JAL

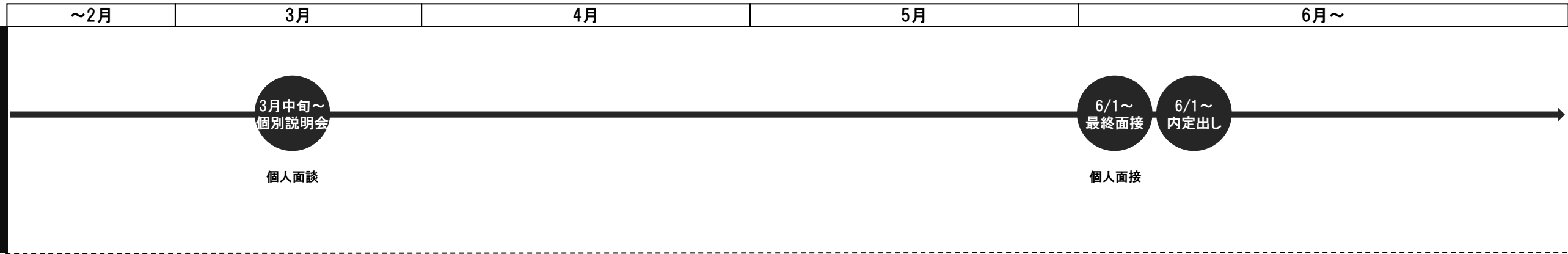
業務企画職(地上職事務系)

通常選考

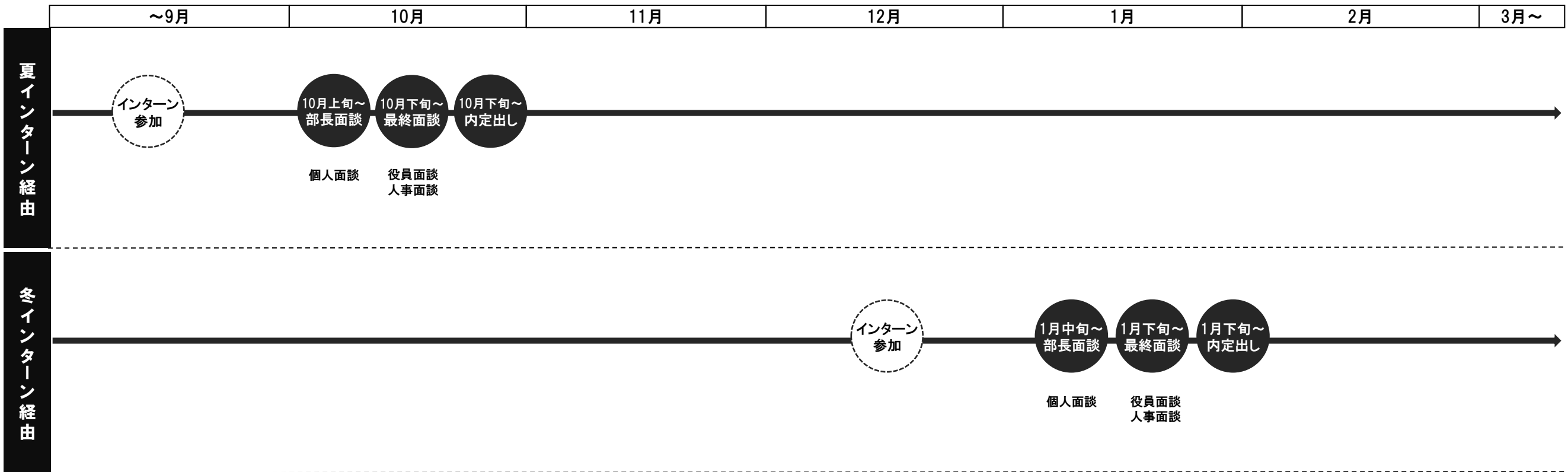


東京電力
事務系職

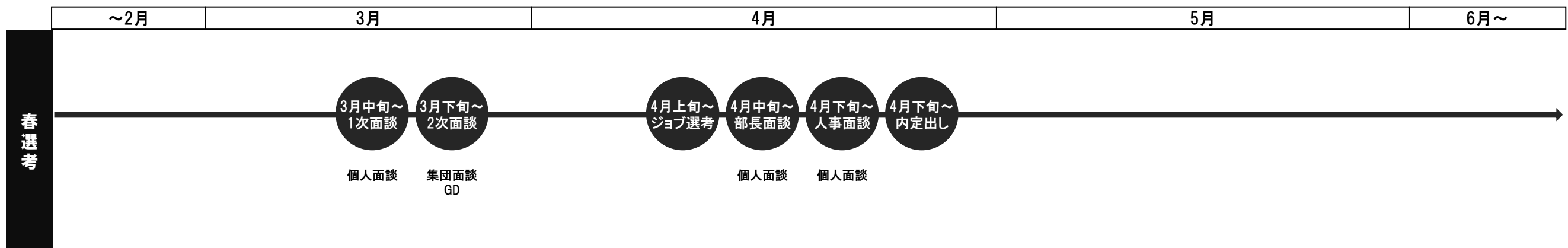
個別説明会
経由

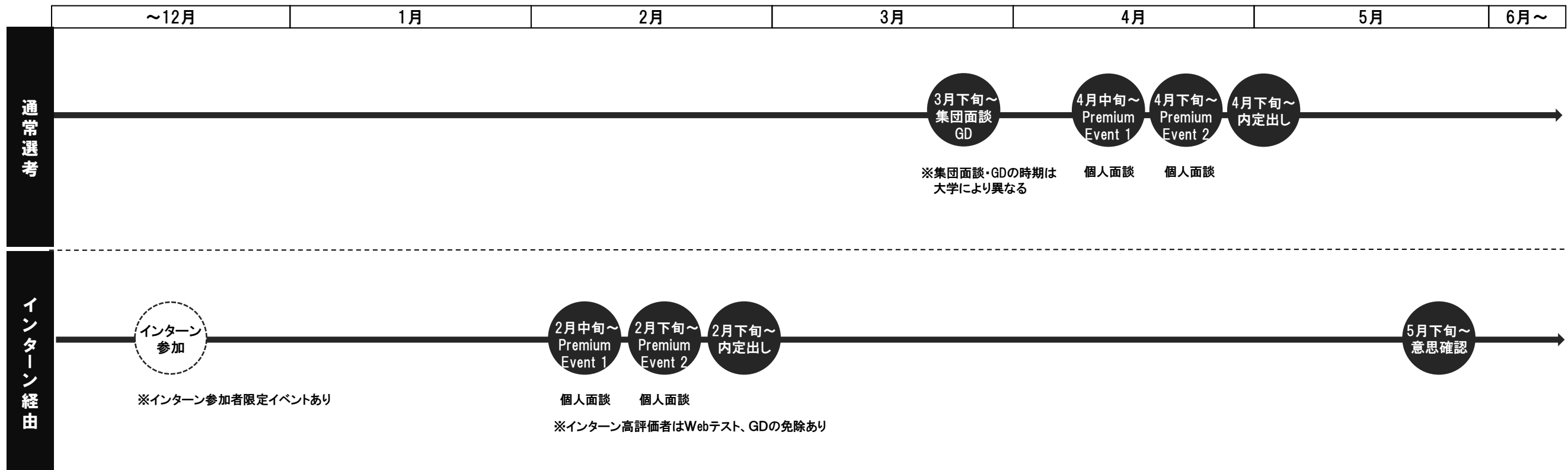


野村総研
経営コンサルタント職

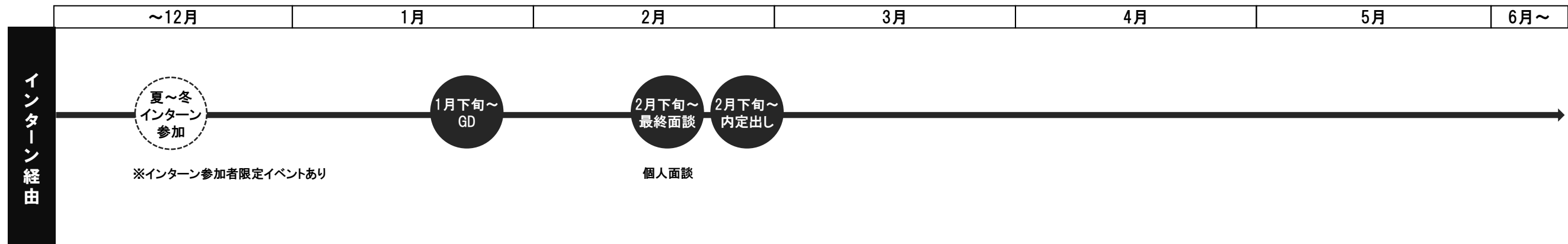


野村総研
経営コンサルタント職





NTT東日本
総合職(事務系)



CASE&TREND

トレンドリーダー57社の選考 2023卒版

STUDENTS' REPORT別冊

2022年8月発行

編集長 小西 亜佐子

編集員 副島 麗央 齋藤 峻哉 伊藤 想夏 湯ノ口 慧 濱田 温人

発行人 西山 亜矢子

発行 株式会社ピボット STUDENTS' REPORT編集部

TEL : 050-3649-7671 / MAIL : support@pivot-inc.co.jp

WEB : <https://www.pivot-inc.co.jp/>

©株式会社ピボット 会員以外の閲覧、無断転載、複製、複写、転載を禁じます。